

令和4年度  
業務年報



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

自 令和4年4月1日  
至 令和5年3月31日

 日本赤十字社 島根県支部  
Japanese Red Cross Society

## 日本赤十字社の使命

わたしたちは、  
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、  
いかなる状況下でも、  
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

## わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

## わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、  
人道の実現のために、  
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、  
人の痛みや苦しみに目を向け、  
常に想像力をもって行動します。

# 国際赤十字・赤新月運動の基本原則

## ■人道 (Humanity)

国際赤十字・赤新月運動（以下、赤十字・赤新月）は、戦場において差別なく負傷者に救護を与えたいという願いから生まれ、あらゆる状況下において人間の苦痛を予防し軽減することに、国際的および国内的に努力する。その目的は生命と健康を守り、人間の尊重を確保することにある。赤十字・赤新月は、すべての国民間の相互理解、友情、協力、および堅固な平和を助長する。

## ■公平 (Impartiality)

赤十字・赤新月は、国籍、人種、宗教、社会的地位または政治上の意見によるいかなる差別をもしない。赤十字・赤新月はただ苦痛の度合いにしたがって個人を救うことに努め、その場合もっとも急を要する困苦をまっさきに取り扱う。

## ■中立 (Neutrality)

すべての人からいつも信頼を受けるために、赤十字・赤新月は、戦闘行為の時にずれの側にも加わることを控え、いかなる場合にも政治的、人種的、宗教的または思想的性格の紛争には参加しない。

## ■独立 (Independence)

赤十字・赤新月は独立である。各国の赤十字社、赤新月社は、その国の政府の人道的事業の補助者であり、その国の法律に従うが、常に赤十字・赤新月の諸原則にしたがって行動できるよう、その自主性を保たなければならない。

## ■奉仕 (Voluntary Service)

赤十字・赤新月は、利益を求めない奉仕的救護組織である。

## ■単一 (Unity)

いかなる国にもただ一つの赤十字社あるいは赤新月社しかありえない。赤十字社、赤新月社は、すべての人に門戸を開き、その国の全領土にわたって人道的事業を行なわなければならない。

## ■世界性 (Universality)

赤十字・赤新月は世界的機構であり、その中においてすべての赤十字社、赤新月社は同等の権利を持ち、相互援助の義務を持つ。

\*宣言：第20回赤十字・赤新月国際会議（1965年、ウィーン）

\*改定：第25回赤十字・赤新月国際会議（1986年、ジュネーブ）

# 目 次

I 支部の運営状況	
1. 諸会議	P4
(1) 評議員会	
(2) 監査	
(3) 赤十字業務推進協議会	
2. 令和4年度一般会計歳入歳出決算	P5
II 赤十字会員と社資（会費と寄付金）の募集状況	
1. 赤十字会員の募集状況	P6
2. 社資（会費と寄付金）の募集状況	P6
3. 日本赤十字社有功章等の贈呈	P6
(1) 社資功労	
(2) 役職功労	
(3) 協賛委員功労	
4. 島根県赤十字有功会の活動	P7
(1) 会員数	
(2) 活動状況	
III 赤十字の普及と広報活動の推進	
1. 令和4年全国赤十字大会	P9
2. 赤十字の普及と広報活動の推進	P9
(1) 赤十字運動月間における活動	
(2) 広報紙及び資料の配布・貸し出し	
(3) ホームページによる情報の発信について	
(4) 日本赤十字社公式マスコットキャラクター『ハートラちゃん』の活用	
(5) 令和4年度『ACTION! 防災・減災プロジェクト』の実施	
IV 事業の実施状況	
1. 災害救護活動	P11
(1) 救護体制	
(2) 災害救護訓練	
(3) 救護体制強化のための研修	
(4) 災害関係諸会議	
(5) 災害情報収集、分析、共有について	
(6) 国内及び支部管内の災害救護・救援活動の状況	
(7) 小災害への対応	
(8) 防災ボランティアの活動	
(9) 赤十字防災セミナーの開催	
(10) 日本赤十字社防災教育事業（赤十字防災セミナー）における支部指導者養成研修会の開催	
(11) 主な救護資機材の整備状況	
(12) スポーツ集会等への救護員の派遣	

2. 救護看護師の養成 .....	P 19
(1) 医療施設における救護看護師の養成	
(2) 救護看護師養成奨学金制度	
3. 救急法・健康生活支援講習等の講習普及活動.....	P 20
(1) 救急法	
(2) 水上安全法	
(3) 健康生活支援講習	
(4) 幼児安全法	
4. 青少年赤十字.....	P 33
(1) 加盟校とメンバー数	
(2) 活動状況	
5. 赤十字奉仕団.....	P 42
(1) 奉仕団の概況	
(2) 奉仕団の設置と活動状況	
6. 医療事業・保健衛生活動.....	P 49
(1) 松江赤十字病院	
(2) 益田赤十字病院	
(3) 松江赤十字病院、益田赤十字病院の新型コロナウイルス感染症への公的病院としての対応	
(4) 隠岐島前地区巡回診療	
7. 血液事業 .....	P 52
(1) 島根県赤十字血液センター	
(2) 献血運動の推進	
(3) 新型コロナウイルス感染症への各種対応について	
8. 社会福祉事業 .....	P 56
(1) 松江赤十字乳児院	
(2) 松江赤十字乳児院における新型コロナウイルス感染症への対応	
(3) 県内児童福祉施設への援護（『児童福祉施設支援金』の贈呈）	
9. 国際活動 .....	P 57
(1) 海外救援金の取扱い	
(2) 中四国（第5ブロック）各県支部共同国際救援事業	
(3) 第40回NHK海外たすけあいキャンペーン	
(4) 国際人道法セミナーの開催	

<参考資料>

参考1：評議員・支部役員名簿

参考2：支部長・副支部長・監査委員及び支部・施設幹部職員

参考3：日本赤十字社島根県支部事務局職員

参考4：令和4年度日本赤十字社島根県支部及び各施設の決算概況

参考5：日本赤十字社島根県支部現勢

参考6：地区分区事務局名簿

# I 支部の運営状況

## 1. 諸会議

### (1) 評議員会

島根県支部では、日本赤十字社定款第70条及び第71条に基づき、評議員会を年2回実施し、収支予算、事業計画、収支決算、役員選出等の議案を審議している。

令和4年度は、第100回評議員会を6月に、第101回評議員会を3月に開催した。なお、議案は次のとおりで、全議案とも原案どおり承認された。



ア. 第100回評議員会（期日：令和4年6月21日 会場：島根県民会館 大会議室）

- 第1号議案 令和3年度 日本赤十字社島根県支部一般会計歳入歳出決算について
- 第2号議案 令和3年度 松江赤十字病院医療施設特別会計歳入歳出決算について
- 第3号議案 令和3年度 益田赤十字病院医療施設特別会計歳入歳出決算について
- 第4号議案 令和3年度 松江赤十字乳児院社会福祉施設特別会計歳入歳出決算について
- 第5号議案 令和3年度 島根県赤十字血液センター事業報告について

イ. 第101回評議員会（期日：令和5年3月1日 会場：島根県民会館 大会議室）

- 第1号議案 令和5年度 日本赤十字社島根県支部事業計画について
- 第2号議案 令和5年度 日本赤十字社島根県支部一般会計歳入歳出予算について
- 第3号議案 令和5年度 松江赤十字病院医療施設特別会計歳入歳出予算について
- 第4号議案 令和5年度 益田赤十字病院医療施設特別会計歳入歳出予算について
- 第5号議案 令和5年度 松江赤十字乳児院社会福祉施設特別会計歳入歳出予算について
- 第6号議案 令和5年度 島根県赤十字血液センター事業計画について

### (2) 監査

支部事務局が、事前に各赤十字施設に対し、事務局監査（事業実施状況聴取）を実施したうえで、令和4年6月1日に、監査委員による令和3年度の島根県支部及び各赤十字施設の業務の管理及び執行の監査を行い、適正であるとの報告を得た。

ア. 事務局監査

- 令和4年5月17日 対象：松江赤十字病院
- 令和4年5月24日 対象：益田赤十字病院
- 令和4年5月24日 対象：島根県赤十字血液センター
- 令和4年5月25日 対象：松江赤十字乳児院

イ. 監査委員監査

- 令和4年6月1日 対象：日本赤十字社島根県支部、県内赤十字施設

### (3) 赤十字業務推進協議会

社業の振興並びに赤十字業務の一層の推進を図るため、下記のとおり赤十字業務推進協議会の開催をオンライン会議形式で開催した。

- 開催日 令和5年1月25日  
 会議形式 オンライン会議形式  
 出席対象 県内19地区分区の幹事及び事務委員  
 報告事項 ①令和4年度社資募集状況について  
 ②令和4年度島根県支部主要事業について  
 協議事項 ①令和5年度島根県支部事業計画（案）について  
 ②令和5年度島根県支部予算（案）及び  
 令和5年度地区・分區別社資目標額（案）について

## 2. 令和4年度一般会計歳入歳出決算

(単位：円)

【歳入】		【歳出】	
科 目	決算額	科 目	決算額
社資収入	165,948,727	災害救護事業費	13,313,482
補助金及び交付金収入	5,163,384	社会活動費	31,328,119
繰入金収入	3,641,266	国際活動費	2,991,246
雑収入	2,396,469	指定事業地方振興費	3,341,266
前年度繰越金	19,827,515	地区分区交付金支出	13,389,382
		社業振興費	18,330,554
		基盤設備交付金・補助金支出	5,500,000
		積立金支出	36,683,604
		総務管理費	27,523,948
		資産取得及び資産管理費	1,487,764
		本社送納金支出	24,091,119
歳入合計	196,977,361	歳出合計	177,980,484
歳入歳出差引額		18,996,877	

## Ⅱ 赤十字会員と社資（会費と寄付金）の募集状況

### 1. 赤十字会員の募集状況

日本赤十字社の活動は、赤十字の理念に賛同し、支援いただく赤十字会員によって支えられている。赤十字会員は、日本赤十字社の組織の基盤をなすものであり、本年度も、一人でも多くの方に赤十字会員に加入していただけるようその募集に努めた。

○赤十字会員数

個人(人)	法人(社)	合計
117,962	854	118,816

○会員（特別会員）数 \*左記会員数の内

個人(人)	法人(社)	合計
1,305	816	2,121

### 2. 社資（会費と寄付金）の募集状況

日本赤十字社の活動資金は、赤十字会員の拠出する会費と、その他寄付金（「会費」と「寄付金」の総称を「社資」という）によって支えられており、地区区分をはじめ、自治会や町内会の皆さまのご理解とご協力を得て、その募集を行っている。

本年度の状況は目標額156,500,000円に対し、総納入額163,607,461円（対前年18,341,617円増）であり、達成率は、104.5%となった。その内、地区区分の取り扱いは、目標額144,438,500円に対し、納入額105,805,338円（対前年1,140,230円減）であり、達成率は73.3%となった。（別表Ⅰのとおり）

### 3. 日本赤十字社有功章等の贈呈

日本赤十字社では、社資または社業振興に顕著な功労のあった方々に対し、日本赤十字社有功章社員章等贈与規則に基づき、表彰を行っている。また、功労内容によっては国の表彰制度が適用となるため、適宜、国へ上申している。令和4年度における有功章等の贈呈状況は次のとおり。

#### (1) 社資功労

日本赤十字社社長感謝状	11件（個人4名・法人7社）
日本赤十字社金色有功章	8件（個人3名・法人5社）
日本赤十字社銀色有功章	25件（個人8名・法人17社）

#### (2) 役職功労

日本赤十字社金色有功章	1件（個人1名）
日本赤十字社銀色有功章	2件（個人2名）

#### (3) 協賛委員功労

日本赤十字社銀色有功章	2件（個人2名）
-------------	----------



## 4. 島根県赤十字有功会の活動

島根県赤十字有功会は、赤十字に対する支援団体として平成10年に設立され、社資や義援金等への協力をはじめ、赤十字活動に対して様々な支援を行っている。

### (1) 会員数 (令和5年3月31日現在)

個人94名 法人96社 計190会員

### (2) 活動状況

#### ア. 会議の状況

名 称	予定期日	予定会場	開催状況
島根県赤十字有功会 正副会長会議	4月26日	サンラポーむらくも(松江市)	会長・副会長・事務局 計9名出席
島根県赤十字有功会総会	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から文書審議にて実施		
日赤紺綬・有功会会長協議会総会	10月6日 ～7日	ANAクラウンプラザホテル (大阪府大阪市)	副会長・事務局 計2名出席

#### イ. 研修等の状況

名 称	予定期日	予定会場	開催状況
研修親睦旅行	11月17日 ～18日	(京都府・滋賀県)	新型コロナウイルス感染 拡大防止の観点から中止

#### ウ. 赤十字社資・国内義援金・海外救援金への協力活動の状況

項 目	内容・状況		
赤十字社資	協力件数・金額	187件	7,225,000円
令和4年7月大雨災害義援金	協力件数・金額	1件	278,097円
令和4年8月3日からの大雨災害義援金	協力件数・金額	4件	306,098円
令和4年台風第15号災害義援金	協力件数・金額	1件	278,098円
中東人道危機救援金	協力件数・金額	1件	3,000円
バングラデシュ南部避難民救援金	協力件数・金額	1件	3,000円
アフガニスタン人道危機救援金	協力件数・金額	1件	3,000円
ウクライナ人道危機救援金	協力件数・金額	17件	4,050,313円
2022年アフガニスタン地震救援金	協力件数・金額	1件	10,000円
2022年パキスタン洪水救援金	協力件数・金額	2件	25,000円
2023年トルコ・シリア地震救援金	協力件数・金額	9件	305,000円
NHK海外たすけあい	協力件数・金額	29件	326,000円

#### エ. 赤十字活動への支援事業

対象施設	寄 贈 品	数量
松江赤十字病院	点滴スタンド	22台
益田赤十字病院	(人間ドック用) ロッカー	1台
	(人間ドック用) ミーティングチェア	10脚
	(新型コロナワクチン接種会場用) ナースカート	1台
	(新型コロナワクチン接種会場用) スチール棚	3台
島根県赤十字血液センター	(献血ルーム用) ロビーチェア	4台
松江赤十字乳児院	冷蔵庫	1台
	全自動洗濯乾燥機	1台

## 令和4年度社資内訳表

地区区分	目標額 (円)	実績額 (円)	達成率	一般社資						法人社資				
				目標額 (円)	会費 (円)	寄付金 (円)	個人住民税 控除後寄付金 (円)	小計 (円)	達成率	目標額 (円)	指定事業扱 (円)	その他 (円)	小計 (円)	達成率
松江市	40,963,500	21,134,830	51.6%	39,835,500	20,465,830	0	0	20,465,830	51.4%	1,128,000	15,000	654,000	669,000	59.3%
浜田市	13,683,100	10,606,307	77.5%	13,357,100	2,343,200	8,150,407	0	10,493,607	78.6%	326,000	0	112,700	112,700	34.6%
出雲市	30,179,600	21,979,637	72.8%	29,280,600	19,242,540	1,032,097	0	20,274,637	69.2%	899,000	0	1,705,000	1,705,000	189.7%
益田市	11,298,600	11,819,488	104.6%	11,007,600	1,595,988	9,362,500	0	10,958,488	99.6%	291,000	0	861,000	861,000	295.9%
大田市	8,507,200	7,256,201	85.3%	8,317,200	6,298,400	636,801	0	6,935,201	83.4%	190,000	0	321,000	321,000	168.9%
安来市	7,961,200	6,659,850	83.7%	7,783,200	6,383,800	22,050	0	6,405,850	82.3%	178,000	0	254,000	254,000	142.7%
江津市	6,025,100	5,389,532	89.5%	5,898,100	5,369,710	19,822	0	5,389,532	91.4%	127,000	0	0	0	0.0%
雲南市	8,017,600	6,607,224	82.4%	7,823,600	6,545,950	61,274	0	6,607,224	84.5%	194,000	0	0	0	0.0%
市地区計	126,635,900	91,453,069	72.2%	123,302,900	68,245,418	19,284,951	0	87,530,369	71.0%	3,333,000	15,000	3,907,700	3,922,700	117.7%
奥出雲町	2,856,800	2,358,538	82.6%	2,783,800	1,966,800	343,438	0	2,310,238	83.0%	73,000	0	48,300	48,300	66.2%
飯南町	1,164,300	1,048,220	90.0%	1,134,300	1,033,000	15,220	0	1,048,220	92.4%	30,000	0	0	0	0.0%
川本町	852,600	847,504	99.4%	829,600	820,900	26,604	0	847,504	102.2%	23,000	0	0	0	0.0%
美郷町	1,270,200	1,114,108	87.7%	1,247,200	1,101,700	12,408	0	1,114,108	89.3%	23,000	0	0	0	0.0%
邑南町	2,595,400	2,241,600	86.4%	2,545,400	2,231,600	10,000	0	2,241,600	88.1%	50,000	0	0	0	0.0%
津和野町	2,030,700	1,572,745	77.4%	1,980,700	1,527,200	45,545	0	1,572,745	79.4%	50,000	0	0	0	0.0%
吉賀町	1,624,100	1,232,500	75.9%	1,586,100	1,232,500	0	0	1,232,500	77.7%	38,000	0	0	0	0.0%
海士町	607,900	595,383	97.94%	598,900	595,000	383	0	595,383	99.4%	9,000	0	0	0	0.0%
西ノ島町	830,100	594,856	71.7%	817,100	554,800	40,056	0	594,856	72.8%	13,000	0	0	0	0.0%
知夫村	197,600	227,300	115.0%	196,600	227,300	0	0	227,300	115.6%	1,000	0	0	0	0.0%
隠岐の島町	3,772,900	2,519,515	66.8%	3,676,900	1,972,651	546,864	0	2,519,515	68.5%	96,000	0	0	0	0.0%
町村区分計	17,802,600	14,352,269	80.6%	17,396,600	13,263,451	1,040,518	0	14,303,969	82.2%	406,000	0	48,300	48,300	11.9%
地区区分計	144,438,500	105,805,338	73.3%	140,699,500	81,508,869	20,325,469	0	101,834,338	72.4%	3,739,000	15,000	3,956,000	3,971,000	106.2%
支部直扱い	12,061,500	57,802,123	479.2%	7,608,900	14,438,590	32,143,443	1,000,000	47,582,033	625.3%	4,452,600	1,985,000	8,235,090	10,220,090	229.5%
総合計	156,500,000	163,607,461	104.5%	148,308,400	95,947,459	52,468,912	1,000,000	149,416,371	100.7%	8,191,600	2,000,000	12,191,090	14,191,090	173.2%

※個人住民税控除対象扱いとなった海外救援金は、上記には含めていないこと。

○参考：令和4年度分 個人住民税控除対象扱いの海外救援金	128件	2,341,266円
内訳：	2022年アフガニスタン地震救援金	1件 10,000円
	2022年バキスタン洪水救援金	8件 125,000円
	2023年トルコ・シリア地震救援金	119件 2,206,266円

## Ⅲ 赤十字の普及と広報活動の推進

赤十字の理念や活動に対する県民への理解を深め、会員の一層の増強を図るため、5月の赤十字運動月間をはじめ、年間を通じ、様々な広報活動に取り組んでいる。

### 1. 令和4年全国赤十字大会

会員の増強と赤十字思想の普及を図り、今後一層の社業の進展を期するため、日本赤十字社名誉総裁である皇后陛下、名誉副総裁である各宮妃殿下のご臨席のもと、毎年、赤十字運動月間である5月に開催している『全国赤十字大会』は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、参加者規模を例年の約1,600名から約500名程度まで縮小して開催した。

期 日	令和4年5月19日
会 場	明治神宮会館（東京都渋谷区代々木神園町1番1号）
内 容	プロローグ、式典、実践活動報告

### 2. 赤十字の普及と広報活動の推進

日本赤十字社では、日本赤十字社創立日（5月1日）や世界赤十字デー（5月8日 ＊創立者アンリー・デュナンの誕生日）など、赤十字にゆかりの深い5月を赤十字運動月間とし、赤十字への理解と活動資金への協力を呼びかける広報キャンペーンを全国で実施している。

当支部においても、赤十字運動月間を中心に、様々な広報活動に取り組み、赤十字の普及に努めた。



#### (1) 赤十字運動月間における広報活動

##### ア. 広報キャンペーンの実施

令和4年度の広報キャンペーンについては、感染予防に留意した取り組みとするため、例年実施している広報用グッズの街頭での配布は行わず、各地区分区において、赤十字会員増強運動にかかわる協賛委員・自治会役員や会議の参加者などに広報用グッズを限定的に配布する活動を実施した。

広報用グッズの内容	チラシ入り個包装マスク
広報用グッズの配布数	12,000枚

##### イ. 街頭ビジョン広報の実施

松江市にある一畑百貨店立体駐車場の壁面に設置されている街頭ビジョン（『一畑ソルクスヴィジョン（くにびき大橋南詰交差点）』）において、5月1日～5月31日の1カ月間にわたり、赤十字運動月間をPRするCM動画を放映した。

##### ウ. メディアを活用した活動

地区分区と連携し、各ケーブルテレビ放送の協力を得て、5月の赤十字運動月間を中心に、日赤本社作成の広報CMのスポット放送を実施した。

## エ. レッドライトアッププロジェクト2022

「世界赤十字デー」である5月8日を中心に、全国の赤十字施設や歴史的建造物やランドマークとなる施設などを赤十字カラーである赤色にライトアップし赤十字への理解と共感を広く国民に呼びかける本プロジェクトに対して、島根県支部においても次のとおり実施した。



実施日時 5月7日・8日・9日の3日間 \*各日共通：日没後～22時

実施場所 松江城、山陰中央テレビジョン放送株式会社鉄塔

## (2) 広報紙及び資料の配布・貸し出し

種別	名称	備考(配布・貸出先等)
日本赤十字社発行	赤十字新聞(毎月発行)	地区分区、社会教育施設、奉仕団、有功会員、青少年赤十字加盟校、報道機関、その他に配布
	赤十字運動月間パンフレット	地区分区(協賛委員等)、社会教育施設、その他に配布
	赤十字広報ポスター	地区分区、社会教育施設、その他に配布
島根県支部発行	しまねの赤十字	県内全体に配布 (年2回発行 [計368,000部発行])
	赤十字への協力について	地区分区(協賛委員等)に配布
	赤十字活動各種パネル	地区分区、赤十字施設、青少年赤十字加盟校、その他に貸出
	青少年赤十字SHIMANE	県内全小中高校、地区分区、その他に配布

## (3) ホームページによる情報の発信について

令和3年4月より、リニューアルを行い、ホームページによる広報を実施している。

## (4) 日本赤十字社公式マスコットキャラクター『ハートラちゃん』の活用

日本赤十字社公式マスコットキャラクター『ハートラちゃん』を広報紙やパネルボード等に掲出。また、県内赤十字施設や地区分区における広報イベント等にて『ハートラちゃん』の着ぐるみを使用し、赤十字活動のPRに広く活用した。



ハートラちゃん着ぐるみ使用状況

名称	期日	会場
島根大学大学祭	10月8日～10月10日	島根大学 (松江市)
NHK歳末・海外たすけあい オープニングセレモニー	12月1日	NHK松江放送局 (松江市)

## (5) 令和4年度『ACTION! 防災・減災プロジェクト』の実施

日本赤十字社では、平成27年度から毎年、東日本大震災が起きた3月に、地域社会に向け「防災・減災への備え」を訴求するプロジェクト「ACTION! 防災・減災」を実施している。

島根県支部においても、このプロジェクトの趣旨に賛同いただいた県内の26社(団体)とともに、このプロジェクトに取り組んだ。

## IV 事業の実施状況

### 1. 災害救護活動

被災された人々を救護する業務は、日本赤十字社の最も重要な事業であり、根幹をなすものである。「災害救助法」（同法に基づき支部は島根県と救助業務委託契約を締結）及び「災害対策基本法」、並びに「大規模災害特別措置法」においても、国及び地方公共団体の行う防災・救助業務への協力が義務付けられている。当支部では、常に災害に備え、救護員の確保と訓練の実施、救護資機材の充実に努め、救護体制の確保に万全を期している。



#### (1) 救護体制

ア. 常備救護班要員の登録と編成

区分	常備 救護班数	医師 (班長含む)	薬剤員	赤十字 看護師長	赤十字 看護師	主事 (兼:自動車操作要員)
松江赤十字病院	3個班	6名	3名	3名	9名	3名
益田赤十字病院	2個班	4名	2名	2名	6名	2名

※この他に支部支援要員として、松江赤十字病院4名、益田赤十字病院2名、島根県赤十字血液センター2名を登録研修する。

※益田赤十字病院については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から登録式・研修を中止。

イ. その他の救護体制

#### ① 日赤災害医療コーディネーターチーム

##### 1) コーディネーター

所属	職名
益田赤十字病院	救急部長
松江赤十字病院	血液内科副部長
松江赤十字病院	救急部医師

##### 2) コーディネートスタッフ

所属	職名
日本赤十字社島根県支部	事業推進課長
〃	事業推進課長補佐
松江赤十字病院	看護師長
〃	薬剤師
松江赤十字病院	課長
益田赤十字病院	看護師長

※平成25年10月1日付で本社と各都道府県支部単位に、医師である災害医療コーディネーターとその支援にあたるコーディネートスタッフによって構成される「日赤災害医療コーディネーターチーム」を設置した。日本赤十字社救護規則第7条に定める本社又は支部の災害救護実施対策本部要員の一人として、専門的な助言や自治体・他の医療救護機関等との連携や調整等の役割を担う。

②こころのケア指導者

区 分	日本赤十字社島根県支部	松江赤十字病院	益田赤十字病院
医 師	—	—	—
看護師長	—	6名	4名
看護師	—	1名	—
主 事	1名	—	2名

③島根県原子力防災緊急被ばく医療体制における医療班

区 分	日本赤十字社島根県支部	松江赤十字病院	益田赤十字病院
医療本部協力	1名	—	—
スクリーニング	—	2チーム(18名)	2チーム(18名)
診断除染	—	2チーム(14名)	—
初期被ばく医療	—	1チーム(8名)	—

④災害派遣医療チーム(DMAT)

区 分	医師	看護師長	看護師	主事
松江赤十字病院	5名	3名	5名	6名
益田赤十字病院	3名	2名	4名	4名

※平成29年7月4日付で島根県と松江赤十字病院ならびに益田赤十字病院間で「島根DMATの派遣に関する協定書」を締結し、災害の急性期において知事からの要請を受けて出動し、原則、県内の災害現場で救命活動を行う(ただし、他の都道府県から派遣要請があり、必要と認められた場合には県外へも派遣する)。

また、平成22年10月16日付けで「中国地区DMAT協議会」が設置されており、中国5県の緊密な連携を図り、中国地区でのDMAT活動がスムーズに行われるよう、訓練や研修を実施している。

(2) 災害救護訓練

No.	訓練名	期 日	会 場	参加人数(人)					
				島根県支部	松江赤十字病院	益田赤十字病院	島根県赤十字血液センター	防災ボランティア地区リーダー	防災ボランティアリーダー
1	島根県行政防災無線通信訓練	6月22日 6月28日	日赤島根県支部 松江赤十字病院 益田赤十字病院	2	2	2	—	—	—
2	EMIS衛星通信訓練	6月 3日	松江赤十字病院	—	2	—	—	—	—
3	第5ブロック各県支部合同救護訓練	10月 5日 10月 6日	日赤広島県支部	1	—	1	—	—	—

4	石見空港航空機事故 消火救難総合訓練 (通報訓練)	10月9日	益田赤十字病院	—	—	2	—	—	—
5	島根県総合防災訓練 (実働訓練)	10月15日 10月16日	隠岐の島町	5	6	7	1	—	3
6	令和4年中国地区DMAT連 絡協議会実働訓練	11月12日	松江赤十字病院 島根県立中央病院	—	12	6	—	—	—



### (3) 救護体制強化のための研修

日本赤十字社（本社）及び島根県支部が災害救護事業にかかる研修事業を実施し、救護要員の資質の向上と防災ボランティアの養成を行った。

No.	研修名	期日	会場	参加人数(人)					
				島根県支部	松江赤十字病院	益田赤十字病院	防災ボランティア地区リーダー	防災ボランティアリーダー	赤十字奉仕団
1	島根県支部常備救護班要員・支援要員登録に係る研修会	6月2日	松江赤十字病院	5	25	—	—	—	2
2	島根県支部常備救護班要員・支援要員登録に係る研修会	—	益田赤十字病院	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止					
3	日赤災害医療コーディネーター研修会	1月21日 ～22日	日本赤十字社本社	—	2	—	—	—	—
4	こころのケア指導者養成研修会	11月16日 ～17日	日本赤十字社本社	—	—	1	—	—	—



#### (4) 災害関係諸会議

No.	研修名	期 日	会 場	参加人数 (人)				
				島根県支部	松江赤十字病院	益田赤十字病院	防災ボランティア 捜索リーダー	防災ボランティア リーダー
1	島根県DMA T連絡協議会	3月22日	島根県民会館 及びWEB会議	1	1	1		
2	島根県災害医療関係機関 連絡会議	3月22日	島根県民会館 及びWEB会議	1		1		
3	松江市防災会議	2月16日	島根県市町村振興 センター及びWEB会議	1				

#### (5) 災害情報収集、分析、共有について

①島根県総合防災情報システムの運用

②広域災害救急医療情報システム (EMIS) の運用

#### (6) 国内及び支部管内の災害救護・救援活動の状況

国内義援金の取扱い (集計期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日)

No.	受付項目	件 数	金 額(円)
1	平成30年7月大雨災害義援金	1	4,852
2	令和2年7月大雨災害義援金	4	24,339
3	令和4年3月福島県沖地震災害義援金	10	104,763
4	令和4年7月大雨災害義援金	7	304,679
5	令和4年8月3日からの大雨災害義援金	14	1,150,460
6	令和4年台風第15号等大雨災害義援金	8	308,274
	合 計	44	1,897,367



## (7) 小災害への対応

県内の火災・風水害・雪害等による災害被災世帯に対し見舞金・見舞品（救援物資）を、また、住居以外の工場・店舗等の被災には見舞金を贈呈している。その他、火災・風水害等による死亡者、赤十字会員の不慮の事故による死亡者に対しては弔慰金を贈呈した。

### ア. 住家災害

市町村名	対象世帯	対象人数	見舞品 品目			見舞金(円)
			毛布(枚)	緊急セット(点)	タオルケット(枚)	
松江市	10	29	2	8	7	50,000
浜田市	3	5	5	3	0	15,000
出雲市	5	9	9	5	2	25,000
益田市	-	-	-	-	-	-
大田市	1	2	2	1	0	5,000
安来市	2	9	0	0	0	10,000
江津市	1	1	1	1	0	5,000
雲南市	8	17	15	8	0	40,000
奥出雲町	-	-	-	-	-	-
飯南町	-	-	-	-	-	-
川本町	-	-	-	-	-	-
美郷町	2	5	0	2	3	10,000
邑南町	1	1	1	1	0	5,000
津和野町	-	-	-	-	-	-
吉賀町	1	2	2	1	2	5,000
海士町	-	-	-	-	-	-
西ノ島町	-	-	-	-	-	-
知夫村	-	-	-	-	-	-
隠岐の島町	2	4	4	2	0	10,000
合計	36	84	41	32	14	180,000

### イ. 工場・店舗災害見舞金

件数(件)	金額(円)
7	70,000

### ウ. 死亡弔慰金

項目	件数(件)	金額(円)
災害による死亡弔慰金	4	40,000
赤十字会員の不慮の事故死による弔慰金	3	30,000

## (8) 防災ボランティアの活動

平成5年度から実施している地区リーダー養成講習会を受講し、赤十字防災ボランティアとして登録した方々が、支部事業への協力の他、地域の実情に沿ったボランティア活動を推進している。

救護訓練への参加

期 日	訓 練 名
10月15日	島根県総合防災訓練
10月16日	日本赤十字社各都道府県支部無線奉仕団と無線通信訓練を実施した



## (9) 赤十字防災セミナーの開催

開 催 日	開 催 地 域	実 施 団 体	災 害 へ の 備 え	災 害 図 上 訓 練	災 害 エ ス ノ グ ラ フ イ ー	防 災 啓 発 プ ロ グ ラ ム (※)	受 講 者 (人)
4月23日	安来市	東出雲地域赤十字奉仕団	○	-	-	-	29
5月26日	出雲市	久木コミセン婦人部	○	-	-	-	14
6月27日	江津市	江津市市民センター	○	-	-	-	51
7月13日	江津市	江津市江東中学校	○	-	-	-	48
9月4日	出雲市	遥堀コミセン	○	-	-	-	37
9月21日	松江市	手話サークルすみれ	○	-	-	-	19
9月29日	出雲市	直江コミセン	○	-	-	-	16
10月22日	松江市	松江養護学校乃木校舎	○	-	-	-	23
10月26日	松江市	松江市立皆美が丘女子高	○	-	-	-	6
受講者計							243 (176)

※ 参考：受講者計（ ）は令和3年度同時期実績

※ 防災啓発プログラム・・・炊き出し、災害時高齢者生活支援など支部独自メニュー

(10) 日本赤十字社防災教育事業（赤十字防災セミナー）における支部指導者養成研修会の開催

※令和4年度は、前年度に引き続いて新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催中止

(11) 主な救護資機材の整備状況

項目	資機材名	数量	
通信機器	無線機（150MHz帯・400MHz帯の基地局・移動局）	56	
	衛星携帯電話（イリジウム）	2	
	衛星車載電話（ワイドスター）	1	
	簡易無線機	10	
救護資機材	医療セット	5	
	携帯型医療セット	2	
	ドラッシュテント	※大型テント	1
	エアートtent（大）	※患者等収容用テント	1
	エアートtent（小）	※診察用テント	1
	災害用移動炊飯器		78
	パイプテント		9
	ワンタッチテント		2
	発電機		5
	折畳寝台		37
	担架		26
	担架架台		22
	バルーン投光器		3
	投光器		4
	ドンネル式ライト		2
	GMサーベイメータ		4
	AED（自動体外式除細動器）		6
	除染セット	※エアートtent、防護服等	1
	車 両	災害救援車	11
		内訳：日赤島根県支部	6台
松江赤十字病院		2台	
益田赤十字病院		3台	
救援物資	毛布	1854	
	タオルケット	1562	
	緊急セット	985	
	安眠セット	520	
その他	国内型緊急対応ユニット（dERU）	3	

※国内型緊急対応ユニット（dERU）については、中四国各県支部共有の救護資機材であり、現在は、香川県支部（17年度整備）、広島県支部（19年度整備）、高知県支部（21年度整備）に配備している。

## (12) スポーツ集会等への救護員の派遣

スポーツ、集会等広域的に実施される多数の参加者が集まる公益的な行事の際に、救護員を派遣し不慮の傷病者の救護にあたった。

件数	延日数	対応施設	派遣期日	派遣行事名	対象者数(人)	医師	看護師	その他	被救護者(人)
1	1	松江	6月 3日	第60回島根県高等学校総合体育大会空手道競技大会	85	1			0
	2	松江	6月 4日	第60回島根県高等学校総合体育大会空手道競技大会		1			0
2	3	松江	6月 7日	令和4年度島根県警察逮捕術、柔道・剣道大会	450	1			4
	4	松江	6月 8日	令和4年度島根県警察逮捕術、柔道・剣道大会		2			
3	5	松江	6月25日	第42回全日本バレーボール小学生大会 島根県大会	1,000		1		0
	6	松江	6月26日	第42回全日本バレーボール小学生大会 島根県大会	700		1		0
4	7	支部	6月26日	第44回全国スポーツ少年軟式野球交流大会島根県予選大会	150		1		0
5	8	松江	7月 3日	第51回島根県少年武道大会	198		1		0
6	9	松江	8月 6日	TSKエリ8祭り	2,432		1		3
	10	松江	8月 7日	TSKエリ8祭り	2,504		1		4
7	11	松江	8月28日	マリンスポーツフェスタ	185		1		0
8	12	松江	10月22日	JAカップ第39回島根県学童軟式野球選手権大会	800		1		0
	13	松江	10月23日	JAカップ第39回島根県学童軟式野球選手権大会			1		
9	14	松江	11月27日	第20回全国スポーツ少年バレーボール大会県予選大会	550		1		0
10	15	松江	12月11日	第45回全国スポーツ少年団剣道交流大会島根県予選大会	50		1		0
11	16	松江	2月26日	第22回島根県小学生バレーボール新人大会	700		1		1
計			延 16日		9,804	5	12	0	12

松江： 松江赤十字病院      益田： 益田赤十字病院      センター： 島根県赤十字血液センター

支部： 日本赤十字社島根県支部職員又は登録指導員（水安／水上安全法指導員、救急法／救急法指導員）

## 2. 救護看護師の養成

医療の高度・専門分化や保健、医療、福祉のニーズが増大する中、医療施設・血液センター・福祉施設などで幅広い業務に対応できる資質の高い看護師の養成は重要な事業であるとともに、救護機関として、災害救護活動の中心をなす看護師の養成は、救護体制整備の基礎となる。



### (1) 医療施設における救護看護師の養成

日本赤十字社の行う救護活動において、救護活動の中心となる看護師は、赤十字医療施設に看護師として3年以上勤務し、一定の救護教育と訓練を受けたものである。

赤十字の理念や基本原則に則って、災害時において救護看護師として活動できる広い能力を身につけるため、松江、益田両赤十字病院と連携し、すでに職員として就業している看護師の3年間にわたる研修に対して協力している。

#### ア. 救護員としての赤十字看護師研修

実施期日	実施病院	対 象	内 容	人数(人)
4月 5日	松江赤十字病院	令和4年度採用看護師他未修者	赤十字概論 I・II・III	64
5月20日	益田赤十字病院			
9月 9日・10日	松江赤十字病院	令和3年度採用看護師他未修者	災害看護論 I・II・III・IV	44
1月27日・2月1日	益田赤十字病院	令和2年度採用看護師他未修者		
11月19日・20・26日	松江赤十字病院	令和2年度採用看護師他未修者	救急法基礎講習 救急員養成講習	24
5月28・29日・6月 4日	益田赤十字病院	令和3年度採用看護師他未修者		15
1月28・29日・2月 4日	益田赤十字病院	卒後2年目以上の看護師他未修者・希望者		16

#### イ. 災害時のこころのケア研修会

実施期日	実施病院	対 象	人数(人)
5月28日	松江赤十字病院	松江赤十字病院看護師等	9

### (2) 救護看護師養成奨学金制度

松江赤十字看護専門学校の開校に伴い、必要となる救護看護師養成のため、赤十字教育施設への進学者に向けた奨学金制度を平成16年に立ち上げ、平成18年度から貸与を実施しており、これまで16人が制度を利用した。

※令和4年度末の奨学金貸与状況：貸与を受け在学している奨学生0人

### 3. 救急法・健康生活支援講習等の講習普及活動

島根県支部では、講習依頼者と協力して新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底し、短期講習および救急法基礎講習等を実施した。また、赤十字施設職員や警察学校など限定した受講者に対して、救急員養成講習や健康生活支援講習を実施した。

#### (1) 救急法

災害時はもとより、日常突発的な事故による傷病者に対しての適切な救命手当・応急手当、事故者の搬送法など人命を救助するための知識と技術を普及した。なお、平成19年度より救急法ではAED（自動体外式除細動器）を用いた講習会を行っている。救急法基礎講習および救急法救急員養成講習は、令和4年4月1日より、「JRC（日本蘇生協議会）ガイドライン2020」に基づいた内容に一部変更された。



講習種別	実施回数(回)	受講者数(人)	認定者数(人)
救急法基礎講習 (4時間)	13 (16)	168 (238)	認定者168(238) ※検定者数168(238)
救急員養成講習 (12時間)	7 (5)	121 (121)	認定者 116(121) ※検定者数 116(121)
短期講習 (適宜)	195 (141)	6,123 (4,846)	
指導員養成講習 (30時間)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合計	215 (162)	6,412 (5,205)	

※（ ）は令和3年度実績

#### (2) 水上安全法

水の事故を防ぐための、水泳事故の防止、泳ぎの基本、溺者の救助法、水難時の救助法、救命手当・応急手当等についての知識や技術を普及した。



講習種別	実施回数(回)	実施回数(回)	認定者数(人)
救助員養成講習〔プール〕 (14時間)	0 (0)	0 (0)	修了者数0(0) ※検定者数0(0)
救助員養成講習〔海〕 (12時間)	0 (0)	0 (0)	修了者数0(0) ※検定者数 0(0)
短期講習 (適宜)	41 (41)	1,189 (1,185)	
指導員養成講習 (30時間)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合計	41 (41)	1,189 (1,185)	

※（ ）は令和3年度実績

### (3) 健康生活支援講習

健やかな高齢期を迎えるため、自身の健康管理・健康増進、介護予防、高齢者の介護・自立支援のための知識と技術を普及した。

また、『災害時高齢者生活支援講習』については、被災した高齢者の避難所生活に焦点をあて、短期講習としての開催の他に、地域における防災セミナーでも実技などを取り入れ実施した。また、『地域で支える認知症』の短期講習も実施した。



講習種別	実施回数(回)	受講者数(人)	認定者数(人)
支援員養成講習 (12時間)	2 (1)	16 (7)	認定者：16(7) ※検定者数：16(7)
短期講習(災害時高齢者生活支援講習) (2時間)	2 (8)	99 (191)	
短期講習(地域で支える認知症) (1.5時間)	1 (1)	15 (13)	
短期講習 (適宜)	2 (0)	24 (0)	
指導員養成講習 (30時間)	1 (0)	9 (0)	9 (0)
合計	8 (10)	163 (211)	

※ ( ) は令和3年度実績

### (4) 幼児安全法

たいせつな子どものいのちを守るため、乳幼児期に起こりやすい事故の予防と応急手当やかかりやすい病気と症状に対する手当、「乳幼児の一次救命処置」として、乳幼児に特化した心肺蘇生、AEDの使い方についての知識と技術を普及した。また、災害時に備えた「災害時の乳幼児生活支援」の短期講習を実施した。



講習種別	実施回数(回)	受講者数(人)	認定者数(人)
支援員養成講習 (10時間)	2 (0)	15 (0)	認定者：15(0) ※検定者数：15(0)
短期講習 (適宜)	76 (68)	1,181 (961)	
指導員養成講習 (30時間)	1 (0)	5 (0)	5 (0)
合計	79 (68)	1,201 (961)	

※ ( ) は令和3年度実績

参考：令和4年度 総講習実績

※講習実施状況詳細は別表Ⅱを参照

区 分	実施回数(回)	受講者数(人)	区 分	実施回数(回)	受講者数(人)
救 急 法	215 (162)	6,412 (5,205)	健康生活 支援講習	8 (10)	163 (211)
水上安全法	43 (41)	1,189 (1,185)	幼児安全法	79 (68)	1,201 (961)
合 計				345回 (281回)	8,965人 (7,562人)

※ ( ) は令和3年度実績



## 4. 青少年赤十字

青少年赤十字は、赤十字の精神に基づいて世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、青少年自身が日常生活の中での実践活動を通じて、いのちと健康を大切にし、地域社会、国家・世界のために奉仕し、世界の人々との友好親善の精神を育成することを目的としている。



青少年赤十字の活動は、世界の青少年赤十字に共通する3つの実践目標 ①「健康・安全」生命と健康を大切にする②「奉仕」

人間として社会のため、人のためにつくす責任を自覚し、実行する③「国際理解・親善」広く世界の青少年を知り、仲良く助け合う精神を養うを掲げるとともに、自主的で自律した生活態度を養うために「気づき、考え、実行する」という態度目標を掲げている。

文部科学省が定めている学習指導要領においては、「生きる力」を教育の柱に掲げ、それを「自ら学び、考え、主体的に判断する能力」と位置づけている。青少年赤十字の実践目標や態度目標、そして様々な指導方法は「生きる力」の結びつくものであり、また青少年赤十字の活動は幼児・児童・生徒の「心の教育」、「命を大切にする教育」に寄与するものとして多くの加盟校に活用されている。

### (1) 加盟校とメンバー数 (令和5年3月31日現在)

校種	加盟校数	メンバー(男)(人)	メンバー(女)(人)	メンバー(計)(人)	指導者(人)
幼稚園	18	240	235	475	106
保育所(園)	37	1,315	1,280	2,595	784
小学校	102	6,680	6,387	13,067	1,366
中学校	58	4,354	4,096	8,450	860
高等学校	35	5,177	5,423	10,600	828
特別支援学校	10	338	216	554	215
義務教育学校	2	307	295	602	54
合計	262 (259)	18,411 (17,295)	17,932 (16,831)	36,343 (34,126)	4,213 (3,026)

※ ( ) は令和4年3月31日時点

## (2) 活動状況

### ア. 会議

島根県青少年赤十字指導者協議会は加盟校の校長、指導者、教育行政関係者により昭和25年6月に設立（別表Ⅲ参照）され、県内外で会議を行い、青少年赤十字の普及や育成に努めている。

	事業名	開催時期	開催場所	備考(参加者等)
1	島根県青少年赤十字指導者協議会役員会・総会	6月8日	ホテル白鳥(松江市)	役員会：役員20名、事務局4名 総会：来賓1名、役員20名、指導者5名、事務局4名
2	青少年赤十字全国指導者協議会総会・研修会	6月29日	日本赤十字社(本社)	指導者協議会副会長 ※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点からWEB開催
3	第5ブロック(中四国) 青少年赤十字指導者協議会長並びに事務担当者会議	11月10日～ 11月11日	ホテル白鳥(松江市)	指導者協議会正副会長5名、事務局4名
4	島根県青少年赤十字指導者協議会 ・青少年赤十字賛助奉仕団 三役会	11月～12月	日赤島根県支部	※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止
5	島根県青少年赤十字指導者協議会 ・青少年赤十字賛助奉仕団 三役会	3月29日	日赤島根県支部	指導者協議会正副会長3名、指導主事1名、 賛助奉仕団正副委員長3名、事務局2名

### イ. メンバー対象の研修会・その他事業

青少年の育成を図るため、島根県青少年赤十字指導者協議会、島根県高等学校文化連盟青少年赤十字部門において研修会等の開催やメンバーの派遣を行った。

	事業名	開催時期	開催場所	備考(参加者等)
1	島根県高等学校青少年赤十字メンバー 春季協議会・指導者会	5月23日	松江市市民活動センター (松江市)	高校メンバー121名、指導者18名 講師：賛助奉仕団員3名
2	青少年赤十字創設100周年記念 島根県青少年赤十字メンバーリーダーシップ・ トレーニング・センター(小・中・高合同)	8月2日～ 8月4日	サンレイク(出雲市)	県内小・中学校及び高校メンバー、指導者 ※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止
3	青少年赤十字創設100周年記念国際交 流事業	10月2日 11月5日～ 11月6日	日本赤十字社(本社)	指導者1名 ※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点 からWEB開催
4	第13回赤十字救急法競技大会 ※高文連青少年赤十字部門共催	10月30日	県立武道館(松江市)	高校メンバー等 参加者およびボランティア ※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止
5	島根県高等学校青少年赤十字メンバー 秋季協議会・指導者会	11月4日	くにびきメッセ (松江市)	高校メンバー85名、指導者17名
6	青少年赤十字創設100周年記念 島根県青少年赤十字メンバー・リーダーシップ・ トレーニング・センター(隠岐会場)	12月3日	隠岐の島町立 西郷中学校(隠岐の島町)	隠岐地区小・中学校メンバー及び指導者 ※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止
7	高文連青少年赤十字部門 青少年赤十字出雲・石見ブロック研修会 (ウクライナ人道危機への対応と国際人道法の普及)	12月16日	県立大田高等学校 (大田市)	高校メンバー57名、指導者9名
8	青少年赤十字創設100周年記念 島根県青少年赤十字メンバー・リーダーシップ・ トレーニング・センター(益田会場)	2月4日	益田市総合福祉セン ター (益田市)	石見地区小・中学生メンバー及び指導者 ※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止
9	青少年赤十字スタディー・センター ⇒青少年赤十字スタディー・プログラムに変更 (第1部：Web、第2部：参集)	3月21日 3月25日	日本赤十字社(本社)	第1部：高校メンバー2名、指導者1名 第2部：高校メンバー2名、指導者1名

ウ. 指導者対象の研修会・その他事業

青少年の育成や青少年赤十字活動へ理解・協力を呼びかけるための、研修会等の開催や、赤十字について理解を深めるための事業への参加を行なった。

	事業名	開催時期	開催場所	備考(参加者等)
1	全国赤十字大会	5月19日	明治神宮会館 (東京都)	指導者協議会幹事1名
2	島根県青少年赤十字指導者講習会	2月9日	日赤島根県支部	指導者35名、賛助奉仕団員1名、指導者協議会正副会長2名、事務局4名 ※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点からWEB開催

※「指導主事対象青少年赤十字研究会」「青少年赤十字指導者養成講習会」「青少年赤十字中央講習会」は令和4年度の開催はなし。

エ. 青少年赤十字活動等へのサポート状況

学校での青少年赤十字活動や、防災について学ぶ『防災スクール』などで講師の派遣を行い、サポートを図った。

	期日	種別	対象	内容
1	4月22日	加盟登録式	安来市立第三中学校	対象：生徒160名、教員31名 内容：JRCについての講話、ちかい唱和、ワッペン贈呈 派遣者：賛助奉仕団員1名、支部職員1名
2	5月19日	加盟登録式	安来市立伯太中学校	対象：生徒115名、教員18名 内容：JRCについての講話、ちかい唱和、ワッペン贈呈 派遣者：賛助奉仕団員1名、支部職員1名
3	7月5日	加盟登録式	安来市立第一中学校	対象：生徒434名、教員41名 内容：JRCについての講話、ちかい唱和、ワッペン贈呈 派遣者：賛助奉仕団員1名、支部職員1名
4	7月13日	防災スクール	江津市立江東中学校	対象：中学1～3年生39名、教員11名、保護者15人 内容：災害・防災についての講話、炊き出し講話 派遣者：支部職員2名
5	10月19日	防災スクール	松江市立義務教育学校八東学園	対象：6年生22名、教員2名 内容：災害・防災についての講話 派遣者：赤十字防災教育指導者1名、支部職員2名
6	10月25日	防災スクール	安来市立第三中学校	対象：中学3年生59名、教員7名 内容：災害・防災についての講話、避難所で役立つ技術、炊き出し講話 派遣者：健康生活支援指導員1名、支部職員1名
7	11月13日	防災スクール	荘原コミュニティセンター	対象：小学1～6年生40名、保護者16名、教員2名 内容：災害・防災についての講話、防災かるた 派遣者：赤十字防災教育指導者1名、支部職員2名
8	12月7日	防災スクール	松江市立島根中学校	対象：中学3年生21名、教員3名 内容：災害・防災についての講話、炊き出し講話 派遣者：支部職員1名

※避難所で役立つ技術…「災害時高齢者生活支援講習」の中の、ホットタオル、ふろしきを使ったリュックサックなど



オ. 青少年赤十字活動への助成

平成22年度より、青少年赤十字加盟校の活動の充実振興に資するとともに、未加盟校の啓発をはかるため、青少年赤十字活動に対する助成を行っている。1校あたり15,000円を上限に、その活動内容に応じて助成しており、今年度の助成校（62校）は下欄のとおりである。

	園名・学校名	活動テーマ
1	松江市立持田幼稚園	朝酌幼稚園のお友達と仲良くなるろう
2	松江市立川津幼稚園	かわっこのお庭（園庭）きらきらプロジェクト
3	松江市立意東幼稚園	栽培活動
4	松江市立古江幼稚園	秋鹿幼稚園のお友達と仲良くなるろう！
5	出雲市立大社幼稚園	大好きいっぱい 笑顔がいっぱい 楽しさいっぱい 大社町！！ ～杵築地区、日御碕地区、鷺鷥地区のひと・もの・こととの触れ合い～
6	松江市立御津保育所	「もったいない」が合言葉。始めてみようSDGs
7	社会福祉法人 壽光会たいしゃ保育園	市場荒神社をきれいにしよう
8	社会福祉法人 出雲南福祉会一の谷保育園	食育について考え、食の大切さについて考えよう
9	社会福祉法人 まつお保育園	花と野菜を育てよう
10	安来市立認定こども園母里	花いっぱい 野菜いっぱい 笑顔いっぱい
11	松江市立大野小学校	異学年交流を通して、全児童が本を好きになる楽しい活動を計画しよう。
12	松江市立母衣小学校	①のびのびファームで花・野菜を育てよう ②学校をピカピカにしよう
13	松江市立意東小学校	世界の子どもにワクチンを！
14	松江市立乃木小学校	身近な自然について調べることを通して、自然環境を守ることの大切さについて学ぶ
15	安来市立井尻小学校	地域の方との交流を深めよう
16	安来市立南小学校	ボランティア活動をしよう！
17	安来市立母里小学校	みんなが幸せになるために
18	安来市立広瀬小学校	富田川から環境を考えよう
19	安来市立能義小学校	やさしい気持ちで 友だちや地域の方と つながろう
20	出雲市立上津小学校	ふるさと上津を大切にしよう
21	出雲市立遙堪小学校	地域を花いっぱいにしてよう
22	雲南市立佐世小学校	命と性の学習をしよう
23	雲南市立鍋山小学校	友達を大切に
24	奥出雲町立高尾小学校	災害支援を学ぼう 高尾小チャリティー寄席
25	奥出雲町立布勢小学校	やさしい気持ちでふれ合おう
26	大田市立長久小学校	障がいについて理解を深めよう
27	大田市立仁摩小学校	海の学習
28	大田市立川合小学校	地域のお年寄りとの交流
29	大田市立温泉津小学校	学校の環境を豊かできれいにしよう！
30	大田市立大田小学校	入学予定の年長さんに絵本を読み聞かせしよう！
31	大田市立静間小学校	環境を大切にしよう
32	大田市立鳥井小学校	ふるさと鳥井の海岸をきれいにしよう！
33	大田市立久手小学校	命の学習をしよう
34	大田市立志学小学校	「三瓶だいすき宿泊体験学習」及び「地域へのボランティア活動をしよう」
35	邑南町立瑞穂小学校	ふくしについて考えよう

	園名・学校名	活動テーマ
36	益田市立豊川小学校	保育園の友達と仲良くなろう！
37	益田市立都茂小学校	ボランティア活動をしよう
38	益田市立戸田小学校	①高齢者交流 ②地域のお年寄りに手紙を書こう
39	益田市立高津小学校	ハートフルたかつ ～ボランティアの輪を広げよう～
40	津和野町立木部小学校	お年寄りとのふれあい活動をしよう
41	津和野町立青原小学校	地域との交流を深めよう
42	吉賀町立柿木小学校	今年もお花いっぱいプロジェクト
43	海士町立海士小学校	お年寄りや保育園児に踊りを披露しよう
44	西ノ島町立西ノ島小学校	ボランティア活動
45	安来市立第一中学校	清掃ボランティアをしよう
46	安来市立伯太中学校	ボランティア福祉活動
47	出雲市立湖陵中学校	地域に貢献しよう
48	雲南市立海潮中学校	防災学習
49	浜田市立金城中学校	「校舎を清潔にしよう！」
50	大田市立大田西中学校	救命救急法を学ぼう
51	川本町立川本中学校	救急救命法を学ぼう
52	邑南町立石見中学校	救急法講習会および掃除ボランティア活動
53	益田市立東陽中学校	地域をきれいにしよう！
54	吉賀町立六日市中学校	花に囲まれた落ち着きのある環境づくりⅡ
55	西ノ島町立西ノ島中学校	地域の海水浴場をきれいにしよう！
56	隠岐の島町立西郷中学校	ボランティア活動で貢献しよう！！
57	隠岐の島町立五箇中学校	保育園にボランティアに行こう
58	県立松江南高等学校	身近なところでSDGsに貢献しよう！
59	県立松江工業高等学校	(1)校内外の環境整備 (2)学園祭で防災を呼びかける
60	県立三刀屋高等学校	Original Style in 雲南 ～広げる健康・繋げる命～
61	県立平田高等学校	赤十字養成講習会
62	県立飯南高等学校	(1)校内外の環境整備 (2)地域の子どもたちとの交流

カ. 青少年赤十字創設100周年記念協働事業

日本の青少年赤十字は1922年に滋賀県で誕生し、赤十字のやさしさや思いやりの心を持った子どもの育成を目的に活動し続け、2022年5月5日に創設100周年を迎えた。これに伴い、「未来のあなたへ、やさしさを。」をテーマに全国で創設100周年にまつわる活動をつなぐ・つづける・つくるを切り口に展開した。このテーマの「未来」とは1秒後から10年後の遠い日までを示し、「あなた」とは「他人」や「自分」と幅広く意味している。島根県での活動は各行事を記念のぼり・バナーを掲げての開催、青少年赤十字創設100周年記念国際交流事業に指導スタッフの派遣、創設100周年記念旗への寄せ書きを行った。また、青少年赤十字加盟校の奥出雲町立高尾小学校との協同事業として「青少年赤十字創設100周年記念高尾小学校にここ寄席10周年記念寄席」を行った。

事業名	開催時期	開催場所	開催場所
青少年赤十字創設100周年記念 高尾小学校にここ寄席10周年記念寄席 ～ 優れた教育活動表彰受賞報告 ～	11月 1日	日赤島根県支部	生徒5名、指導者5名 観客：みずうみ奉仕団員11名



別表Ⅳ

令和4年度 島根県青少年赤十字（JRC）加盟校登録状況

令和5年3月31日現在

… R03加盟校 ★ … 新規加盟校

市町村	幼	人数	小	人数	中	人数	高・特支	人数
松江市	母衣		★母衣	491	第一	9	松江北	754
	城北		城北	552	第二		松江南	781
	中央		内中原	680	第三	299	松江東	12
	雑賀		中央	293	第四		松江工業	14
	津田		雑賀	191	湖南		松江商業	4
	古志原	53	津田		湖東		松江農林	447
	川津	42	古志原		★本庄	50	皆美が丘	284
	朝酌	5	川津	227	湖北		松徳	193
	八雲		朝酌	113	鹿島		開星	
	忌部		法吉	10	島根	60	淞南	276
	大庭		竹矢	316	美保閨		松江西	
	玉湯		乃木	907	八雲		高専	
	★持田	16	忌部		宍道		宍道(定通)	816
	古江	5	大庭	509	宍道分校		松工(定)	
	大野(休)		生馬	108	東出雲	467		
	秋鹿	5	持田	304	松徳	89	盲学校	16
	講武		古江		開星		松江ろう	
	★佐太	12	★本庄	79			★松江養護	204
	出雲郷		大野	19	★八東学園 義務	251	清心養護	64
	揖屋	13	秋鹿		島大附属 義務	351	緑が丘	52
	意東	6	★恵曇	67	玉湯学園		★乃木校舎	83
	城西幼保	170	佐太	86				
	しんじ幼保		鹿島東	89				
	幼保園のぎ		島根	132				
	揖屋(保)	146	美保閨					
	意東(保)	65	八雲					
	育英	26	宍道					
	育英北	25	来待	109				
	御津(保)	40	来待分校					
	美保閨東(保)	25	意東	220				
	附属		揖屋	15				
	こぼと(保)		出雲郷	479				
	わかたけ(保)	114						
	まつお(保)	30						
	みずうみ第2(保)	59						
	虹の子(保)							
	嵩見(保)							
	みずうみ(保)	60						
	袖師(保)	84						
	みどり(保)	57						
	わらべその(保)	59						
融合乳児園	41							
融合こども園	37							
しらゆり(保)	25							
しらゆり第2(保)	30							
しらゆり千鳥(保)	29							
シオンこつ(保)	40							
愛恵(保)	94							
★湯町(保)	127							
★みのり黒田	101							
計	32	1,641	23	5,996	8	1,576	15	4,000
安来市	安来		十神	347	第一	434	安来	390
	島田		社日		第二	80	情報科学	276
	宇賀荘(休)		島田	154	第三	160		
	能義		宇賀荘	43	広瀬	154	★安来分教室	13
	荒島		南	67	伯太	115		
	布部		能義	57				
	広瀬		飯梨	31				
	比田		荒島					
	母里	30	赤江					
	安田		広瀬	213				
	井尻		比田	25				
	赤屋		山佐	9				
	飯梨		布部					
	大塚		安田					
	安来(保)		母里	11				
	切川(保)		井尻	19				
計	1	30	11	976	5	943	3	679

市町村	幼	人数	小	人数	中	人数	高・特支	人数	
出雲市	今市	54	今市		第一		平田	435	
	大津		大津		第二	473	出雲	901	
	上津		上津	34	第三		出雲工業	422	
	塩冶		塩冶		河南	339	出雲商業	457	
	古志		神戸川		河南分校		出雲農林	19	
	高松	52	神戸川分校		浜山		大社	683	
	長浜		高松		南		出雲北陵		
	四絡		長浜		平田	414	出雲西		
	高浜		四絡		向陽	196			
	川跡	54	高浜		佐田	67	出雲養護		
	鷹巣	16	北陽		多伎	85	みらい分教室		
	朝山		稗原		湖陵	119			
	稗原		神西		★大社	407			
	神門		平田		斐川東	254			
	神西		灘分		斐川西				
	中央		国富						
	平田		西田	47					
	東		鰯淵	21					
	湖陵		さくら						
	大社	41	北浜						
	★荒木	37	伊野	68					
	★遙堪	13	窪田	40					
	莊原		★須佐	74					
	西野		多伎						
	中部		湖陵						
	北陵		大社						
	神門保育園	119	荒木	351					
	あすなろ(保)	153	遙堪	139					
	あすなろ 第2(保)	139	莊原	92					
	たいしゃ(保)	121	西野						
	★一の谷	74	中部						
			出東						
			みなみ						
			朝陽	215					
	計	12	873	10	1,081	9	2,354	6	2,917
	雲南市	大東		大東		大東	280	大東	243
		西		西		海潮	10	三刀屋	381
		佐世		佐世	80	加茂	140	三刀屋分校	74
		海潮	6	阿用		木次	212		
		斐伊		海潮	56	三刀屋		雲南分教室	
		寺領		加茂		吉田			
木次			木次		掛合	66			
三刀屋			斐伊						
斐伊(保)			寺領						
加茂		172	西日登						
かもめ(保)			三刀屋	213					
掛合(保)	64	鍋山	51						
田井(保)		吉田							
吉田(保)		田井	13						
大東(保)		掛合							
計	3	242	5	413	5	708	3	698	

市町村	幼	人数	小	人数	中	人数	高・特支	人数
奥出雲町	三成(保)		布勢	55	仁多		横田	
	三沢(保)		三成	93	横田			
	阿井(保)		高尾	5				
	布勢(保)	28	亀嵩					
	亀嵩(保)	26	阿井					
	横田(保)	90	三沢					
	馬木(保)	20	鳥上					
	八川(保)	27	横田					
			八川	58				
			馬木	43				
計	5	191	5	254	0	0	0	0
飯南町			頓原		頓原		飯南	6
			志々		赤来	66		
			赤名					
			来島	52				
計	0	0	1	52	1	66	1	6
浜田市	原井(休)		原井		第一		浜田	544
	石見		雲雀丘		第二		浜田商業	78
	長浜		松原		第三		浜田水産	
	美川		石見		第四		浜田(定)	
	夕日ヶ丘		美川		浜田東	155	浜田(通)	
			周布		金城	103		
			長浜		旭		浜田養護	
			国府		弥栄		浜田ろう	6
			三階		三隅	109		
			雲城					
			今福	41				
			波佐					
			旭	130				
		弥栄						
		三隅						
		岡見						
計	0	0	2	171	3	367	3	628
大田市	大田		大田	150	第一	428	大田	376
			長久	185	第二		邇摩	252
			五十猛	66	北三瓶			
			静間	62	志学		大田分教室	
			鳥井	45	第三	8	邇摩分教室	
			久手	193	大田西	116		
			朝波					
			北三瓶	11				
			志学	20				
			池田					
			川合	58				
			久屋					
			大森	21				
		高山						
		温泉津	84					
		★仁摩	141					
計	0	0	12	1,036	3	552	2	628
江津市	あさり	52	郷田		江津	230	江津	172
	さくら	41	渡津		江東	39	江津工業	141
			江津東	13	青陵	15	石見智翠館	
			川波		桜江		キリスト教真	
			津宮	319			江津清和	
			桜江	103				
計		93	3	435	3	284	2	313
川本町	2		川本	127	川本	57	島根中央	214
計	0	0	1	127	1	57	1	214

市町村	幼	人数	小	人数	中	人数	高・特支	人数
美郷町			邑智	138	邑智	90		
			大和	58	大和	23		
	0	0	2	196	2	113	0	0
邑南町			口羽	22	羽須美	32	矢上	277
			阿須那	25	瑞穂	89		
			高原	39	石見	123	★石見養護	21
			瑞穂	134				
			市木	13				
			矢上					
			日貫	11				
			石見東	70				
計	0	0	7	314	3	244	2	298
益田市	益田		高津	405	★益田	405	益田	
	吉田		吉田	197	高津	199	益田翔陽	9
	益田天使		吉田南		★益田東	218	明誠	
			安田	210	東陽	149	益田東	
			鎌手		真砂			
			真砂		横田	110	益田養護	74
			豊川	33	小野	28		
			西益田	163	中西			
			桂平		美都	24		
			戸田	54	匹見			
			中西	74				
			益田	302				
			東仙道					
		都茂	31					
		匹見						
計	0	0	9	1,469	7	1,133	2	83
津和野町			津和野		津和野	72	津和野	200
			木部	25	日原	68		
			日原					
			青原	29				
計	0	0	2	54	2	140	1	200
吉賀町			柿木	55	柿木		吉賀	104
			七日市	38	吉賀	39		
			朝倉		六日市	48		
			六日市	86				
			蔵木					
計	0	0	4	179	2	87	1	104
海士町			福井		海士	54	隠岐島前	166
			海士	53				
計	0	0	1	53	1	54	1	166
西ノ島町			西ノ島	105	西ノ島	52		
計	0	0	1	105	1	52		
知夫村			知夫		知夫			
計	0	0	0	0	0	0	0	0
隠岐の島町			西郷		西郷	161	隠岐	199
			中条	60	西郷南	95	隠岐水産	
			有木	35	五箇	35		
			磯	42	都万	31	隠岐養護	21
			北	19				
			五箇					
			都万					
計	0	0	4	156	4	322	2	220

幼・保 55 園 (新規：7園) (参考：R3加盟校数) 52 園  
 小学校 102 校 (新規：6校) 107 校  
 中学校 60 校 (新規：4校) 61 校  
 高校 35 校 (新規：校) 35 校  
 特別支援 10 校 (新規：4校) 6 校  
 合計 262 校 (新規：21校・園) 261 校

※令和3年度は義務教育学校を小・中の2校扱い。



## 5. 赤十字奉仕団

### (1) 奉仕団の概況

赤十字奉仕団規則に基づいて、県内の市町村毎に地域赤十字奉仕団を結成している。

また、学生を含めた青年および特定の職能を有する人たちが特別赤十字奉仕団を結成し、それぞれの特性と能力を活かして奉仕活動を展開している。

活動分野は、広範囲にわたっており、赤十字思想の普及、青少年赤十字の普及・育成、献血の推進および採血業務の援助、高齢者福祉の推進等を中心に、近年の著しい社会情勢の変動や国民生活の実態に即した活動を行っている。

奉仕団では研修会、協議会等を通じて、団員の意識や知識・技術の向上を図っている。

また、『日本赤十字社島根県支部赤十字奉仕団委員長協議会』を開催し、各奉仕団の連携と協働を図り、横断的な繋がりを強化している。(同協議会に青少年赤十字指導者協議会会長も出席し、JRCとの連携も図っている。)



### (2) 奉仕団の設置と活動状況

ア. 地域赤十字奉仕団（野々内さとみ委員長：団員2,452名 市町村毎 17団）

昭和32年4月1日に県内の市町村毎に奉仕団を結成し、地域のニーズに即した奉仕活動を行っている。赤十字思想の普及・赤十字活動資金（会費）募集、非常災害に対する防災・救助活動、救急法の講習、地域子育て支援等の赤十字事業の推進を行っている。

#### ①研修会・会議

##### 1) 県内全体会

	事業名	期日	会場	備考(参加者等)
1	令和4年度 赤十字奉仕団島根県支部委員会 地域赤十字奉仕団総会・研修会	5月23日	ニューアーバンホテル (松江市)	参加者：支部委員会正副委員長2名、 団員39名 総会：令和3年度事業報告 各種事業参加者報告 令和4年度事業計画 研修会：「赤十字と国際人道法」
2	島根県支部赤十字奉仕団 委員長協議会	8月29日	日赤島根県支部	支部委員会委員長

##### 2) 県内地域別研修・講習

	事業名	期日	会場	備考(参加者等)
1	出雲市赤十字奉仕団総会・研修会 (赤十字の歴史と活動)	6月12日	神門コミュニティーセンター (出雲市)	出雲市赤十字奉仕団員50名
2	赤十字防災セミナー	6月27日	江津市総合市民センター (江津市)	江津市赤十字奉仕団員46名

### 3) 全国・第5ブロック会議等団員派遣

	事業名	期日	会場	備考(参加者等)
1	全国赤十字大会	5月19日	明治神宮会館(東京都)	支部委員会委員長
2	赤十字奉仕団中央委員会	5月30日 ～31日	日赤本社(東京都)	支部委員会副委員長1名
3	第5ブロック赤十字奉仕団協議会	9月26日 ～27日	総合あんしんセンター (高知県)	支部委員会委員長1名 ※新型コロナウイルス感染症感染拡大 防止の観点からWEB開催
4	第5ブロック赤十字奉仕団研修会	12月1日 ～2日	香川県社会福祉総合センター (香川県)	地域赤十字奉仕団員3名
5	赤十字ボランティア・リーダー研修会 (地域奉・特殊・青奉対象)	1月28日 ～30日	日赤本社(東京都)	地域赤十字奉仕団副委員長1名
6	赤十字奉仕団中央委員会常任委員会	12月2日	日赤本社(東京都)	支部委員会委員長

#### ②赤十字活動資金(会費)への協力

令和4年度実績 125件 160,000円

#### ③赤十字事業に対する協力活動

	事業名	期日	会場	備考(参加者等)
1	赤十字運動月間キャンペーン	5月	県内各地域	※新型コロナウイルス感染症感染拡大 防止の観点から中止
2	第13回赤十字救急法競技大会	10月30日	県立武道館(松江市)	※新型コロナウイルス感染症感染拡大 防止の観点から中止

#### イ. 特別赤十字奉仕団

設立目的に応じ、奉仕団の特性と能力を生かした赤十字活動の推進にあたっている。島根県支部には、青年層で組織した青年赤十字奉仕団と特殊技能を有する特殊赤十字奉仕団が設立されている。

各々特技を生かし、献血思想の普及、災害救護、救急法等の技術知識の習得、施設奉仕、公共施設の清掃奉仕等様々な活動を行っている。また、それぞれの奉仕団において、研修会、協議会、その他の各種会合を開いて意識向上を図っている。

#### ①青年赤十字奉仕団

平成17年に設立されたしんじ湖青年赤十字奉仕団(足立剛委員長:団員7名)並びに平成22年に設立された島根大学学生赤十字奉仕団(長谷川由賀委員長:団員13名)の2単位団が活動している。

全国及び第5ブロック(中四国)の研修会等で培った知識・技術を生かして、赤十字思想の普及、地域のニーズに即した活動を積極的に実践している。また全国や第5ブロックの協議会及び研修会等へ代表者を派遣し、赤十字に集う若いネットワークを通じて、活発に協議・情報交換を行い、交流を深めている。

### 1) 本社・ブロック主催の会議・研修会等

	事業名	期日	会場	備考(参加者等)
1	第5ブロック青年赤十字奉仕団連絡協議会代表者会議	6月4日～5日	香川県社会福祉総合センター(香川県)	委員長
2	赤十字ボランティア・リーダー研修会(地域奉・特殊・青奉対象)	8月27日～28日	国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都)	副委員長1名 ※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点からWEB開催
3	第5ブロック青年赤十字奉仕団研修会	11月19日～20日	日赤岡山県支部(岡山県)	団員2名

### 2) 他県主催の会議・研修会等

	事業名	期日	会場	備考(参加者等)
1	HIV/AIDSピア・リーダー養成研修会	6月12日	WEB開催(京都府)	委員長、副委員長1名、団員1名

### 3) 支部主催事業への参加・活動協力

	事業名	期日	会場	備考(参加者等)
1	赤十字運動月間広報キャンペーン	5月	松江市内	赤十字への協力呼びかけ、カットバン配布 ※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止
2	青少年赤十字創設100周年記念 島根県青少年赤十字メンバーリーダーシップ・トレーニング・センター(小・中・高合同)	8月2日～4日	サンレイク(出雲市)	※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止
3	第13回赤十字救急法競技大会	10月30日	県立武道館(松江市)	※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止
4	島根県高等学校青少年赤十字メンバー秋季協議会・指導者会(研修会)	11月4日	くにびきメッセ(松江市)	団員2名

### 4) 青年赤十字奉仕団主催の活動

	事業名	期日	会場	備考(参加者等)
1	新入生歓迎会	4月19日	島根大学(松江市)	※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点からWEB開催 委員長、団員5名
2	ウクライナ人道危機救援金募金活動	6月29日～30日	イオン菅田店(松江市)	委員長、団員3名
3	古浦海岸清掃古浦海岸		古浦海岸(松江市)	※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止
4	第72回凧風祭(島根大学大学祭)ポスター展示	10月9日～10日	島根大学(松江市)	委員長、団員7名
5	海外たすけあい・児童福祉施設支援金募金活動	12月20日～21日	島根大学・イオン菅田店(松江市)	委員長、団員7名
6	2023年トルコ・シリア地震救援金募金活動	2月22日～24日	島根大学・イオン菅田店(松江市)	支部委員会委員長
7	松江赤十字乳児院ボランティア	月2～3回	松江赤十字乳児院(松江市)	島根大学学生赤十字奉仕団乳児院ボランティア 毎月2回1～2名ずつ訪問 ※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から活動見合わせ
8	定例会	月1回	島根大学(松江市)	

②みずうみ赤十字奉仕団（松本淑子委員長：団員37名）

松江市の有志により昭和31年3月10日に設立され、地域に根ざした地道な活動を展開している。高齢者施設への訪問活動や青少年赤十字加盟校との交流活動を通し、入所者および青少年赤十字メンバーとの親睦を図っている。

1) 主要実施活動

	事業名	開催時期	開催場所	備考(参加者等)
1	赤十字運動月間広報キャンペーン	5月	松江市内	※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止
2	日赤島根県支部赤十字奉仕団委員長協議会	8月29日	日赤島根県支部	委員長
3	戦争犠牲者慰霊塔清掃、供養	9月28日	緑山公園（松江市）	委員長、団員9名
4	総会	10月28日	日赤島根県支部	委員長、団員8名 令和3年度事業報告及び決算報告 令和4年度事業計画及び予算
5	古布ふきんづくり	10月28日	日赤島根県支部	委員長、団員3名
6	NHK歳末・海外たすけあい オープニングセレモニー	12月1日	NHK松江放送局 (松江市)	団員2名
7	児童福祉施設支援金贈呈	1月12日	日赤島根県支部	委員長、団員2名
8	施設訪問（古布ふきん持参）	2月20日	各福祉施設	委員長、団員2名
9	松江市立皆美が丘女子高等学校 ちょうちょキャンペーン	3月13日	松江市立皆美が丘 女子高等学校（松江市）	委員長、団員5名
10	情報誌 ザレッドクロスみずうみ	3月末発刊	日赤島根県支部	編集委員 委員長、団員3名
11	病院ボランティア		松江赤十字病院	※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から活動見合わせ
12	乳児院ボランティア		松江赤十字乳児院 (松江市)	※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から活動見合わせ
13	赤十字会員加入・ 活動資金募集への協力		—	全団員に呼びかけ（総会時）

2) 赤十字活動資金（会費）への協力

令和4年度実績 38件 85,000円

③島根県無線赤十字奉仕団（金子由次委員長：団員18名）

アマチュア無線家で構成するこの奉仕団は、防災ボランティアリーダー・サブリーダーとしても、防災ボランティア地区リーダー養成事業や各種防災訓練などの支部災害救護事業に参画している。また、全国の無線赤十字奉仕団との通信訓練を活発に行っている。

1) 主要実施活動

活動・事業名		期 日	会 場	参加者（人）
会議	島根県支部赤十字奉仕団委員長協議会	7月26日	日本赤十字社島根県支部 (松江市)	1
事業名	島根県総合防災訓練	10月15日、16日	隠岐の島町	3
	島根県高等学校青少年赤十字メンバー 秋季協議会・指導者会	11月 4日	くにびきメッセ	3
	松江市朝日公民館・防災キャンプ教室	3月29日	宍道森林公園	3
無線通信訓練	全国のアマチュア無線赤十字奉仕団との通信訓練		13局	

2) 全国のアマチュア無線赤十字奉仕団との通信訓練

	無線通信訓練名	訓練日時	通信相手（依頼支部 所属奉仕団）	
1	霧島市総合防災訓練非常通信訓練	5月19日	JA6YPB	鹿児島県赤十字アマチュア無線奉仕団
2	島根県総合防災訓練 島根県無線赤十字奉仕団非常通信訓練	10月16日	JA4YUL	島根県無線赤十字奉仕団
3	兵庫県赤十字アマチュア無線奉仕団 通信訓練	10月22日、23日	JH3YTR	兵庫県赤十字アマチュア無線奉仕団
4	北海道北斗市地区無線赤十字奉仕団 非常通信訓練	10月30日	JA8DHR	北海道無線赤十字奉仕団
5	鹿児島県総合防災訓練非常通信訓練	11月 5日	JA6YPB	鹿児島県アマチュア無線クラブ
6	山口県赤十字アマチュア無線奉仕団 全国無線通信訓練	11月5日、6日	JA4YGI	山口県赤十字アマチュア無線奉仕団
7	宮崎県赤十字アマチュア無線奉仕団 全国無線通信訓練	11月 6日	JA6YRG	宮崎県アマチュア無線赤十字奉仕団
8	和歌山県赤十字特別救護奉仕団 全国無線通信訓練	11月 6日	JA3YQJ	和歌山県赤十字特別救護奉仕団(無線奉仕団)
9	愛知県赤十字無線奉仕団 無線通信訓練	12月18日	JH2YWN	愛知県赤十字無線奉仕団
10	桜島火山爆発総合防災訓練 非常通信訓練	1月 7日	JA6YPB	鹿児島県アマチュア無線クラブ
11	宮崎市総合防災訓練 非常通信訓練	1月29日	JA6YRG	宮崎県アマチュア無線赤十字奉仕団
12	福岡県赤十字無線奉仕団非常通信訓練	3月19日	JA6YPV	福岡県赤十字無線奉仕団
13	神奈川県無線救急赤十字奉仕団による 無線通信訓練	3月26日	JA1YRZ	神奈川県無線救急赤十字奉仕団

④島根県青少年赤十字賛助奉仕団（広原啓視委員長：団員30名）

島根県青少年赤十字指導者協議会の会員であった者、青少年赤十字に深い理解と認識をもつ者がこれまで培った経験や知識を活かして青少年赤十字の普及・啓発の支援を行うため、平成16年5月15日に設立。学校での活動や校長会などでの普及・啓発活動のほか、会議や研修等を通じて全国や第5ブロックの賛助奉仕団と連携を深め活動を展開している。

1) 主要実施活動

	事業名	期日	会場	備考（参加者等）
1	役員会	4月6日	日赤島根県支部（松江市）	委員長、団員5名 総会および研修会について
2	加盟登録式	4月22日	安来市立第三中学校 （安来市）	支部指導講師1名 青少年赤十字について
3	加盟登録式	5月19日	安来市立伯太中学校 （安来市）	支部指導講師1名 青少年赤十字について
4	総会・研修会	5月22日	日赤島根県支部（松江市）	委員長、団員13名研修会 国際人道法及び赤十字の理念等について
5	島根県高等学校青少年赤十字メンバー 春季協議会・指導者会	5月23日	松江市市民活動センター （松江市）	団員3名
6	赤十字運動月間広報キャンペーン	5月	—	※新型コロナウイルス感染症感染拡大 防止の観点から中止
7	島根県青少年赤十字指導者協議会 役員会・総会	6月8日	ホテル白鳥（松江市）	委員長
8	加盟登録式	7月5日	安来市立第一中学校 （安来市）	支部指導講師1名派遣 青少年赤十字について
9	全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会 役員会・総会	7月14日 ～15日	日赤本社（東京都）	委員長、団員1名（全国役員）
10	島根県支部赤十字奉仕団委員長協議会	8月29日	日赤島根県支部（松江市）	委員長
11	青少年赤十字創設100周年記念 島根県青少年赤十字メンバーリーダ シップ・トレーニング・センター （小・中・高合同）	8月2日 ～4日	サンレイク（出雲市）	※新型コロナウイルス感染症感染拡大 防止の観点から中止
12	第5ブロック青少年赤十字賛助奉仕 団連絡協議会・研修会	10月28日 ～29日	日赤広島県支部（広島県）	委員長、団員1名
13	第13回赤十字救急法競技大会	10月30日	県立武道館（松江市）	※新型コロナウイルス感染症感染拡大 防止の観点から中止
14	島根県高等学校青少年赤十字メンバ ー秋季協議会・指導者会（研修会）	11月4日	くにびきメッセ（松江市）	委員長
15	児童福祉施設支援金贈呈	12月19日	日赤島根県支部（松江市）	支部を通して県内13か所の児童福祉 施設へ
16	「いとすぎしまね」編集会議	12月19日	日赤島根県支部（松江市）	委員長、団員2名
17	島根県青少年赤十字指導者協議会・ 青少年赤十字賛助奉仕団三役会	12月	日赤島根県支部（松江市）	※新型コロナウイルス感染症感染拡大 防止の観点から中止
18	島根県青少年赤十字指導者講習会	2月9日	日赤島根県支部（松江市）	団員1名参加 ※新型コロナウイルス感染症感染拡大 防止の観点からWEB開催
19	全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会 第2回役員会	3月13日 ～14日	日赤本社（東京都）	団員1名（全国役員）出席
20	役員会	3月27日	日赤島根県支部（松江市）	委員長、団員7名 「いとすぎしまね（第32号）」編集 令和5年度総会・役員会について
21	島根県青少年赤十字指導者協議会・ 青少年赤十字賛助奉仕団三役会	3月29日	日赤島根県支部（松江市）	委員長、副委員長2名

⑤島根理容赤十字奉仕団(福代一成委員長：団員276名)

令和4年度活動記録：35施設と在宅家庭において、延べ459人の奉仕団員が、延べ348回 18,955人に対して理容奉仕活動を実施した。

### (3) 赤十字奉仕団支部指導講師

当支部には赤十字奉仕団支部指導講師が10名在籍している。同指導講師は、日本赤十字社島根県支部が行う各奉仕団研修会やJRCメンバー・指導者協議会等において、講演や研修指導等の活動を行っている。

## 6. 医療事業・保健衛生活動

### (1) 松江赤十字病院

松江赤十字病院は、日本赤十字社の全国92病院の一つで、昭和11年4月県立松江病院の廃止移管を受け、日本赤十字社松江支部病院として創設し、昭和18年1月に松江赤十字病院と名称変更し今日に至っている。



80有余年の長い歴史の中で、社会情勢の変化に応じた医療需要に対応し、高度・良質な医療の提供を行う県東部の中核病院として常に主要な役割を果たしてきた。

国の進めている病病・病診連携を実現すべく当院の役割分担を明瞭化し、松江医療圏域あるいは島根県全体の急性期医療を中心的に担い、高度な医療を提供する施設として期待される場所である。

そうした高度医療提供の期待に応えるべく、平成16年4月には、救命救急センターを開設、平成17年1月には地域がん診療拠点病院の指定を受け、さらに平成19年2月には県内3番目に「地域医療支援病院」の承認を得るとともに同年4月には「がん相談支援センター」を開設するなど引き続き地域における中核病院としての役割を果たすこととしている。

また、当院は赤十字病院としてDMATチームや救護班要員を備え、大規模災害発生時には被災地の医療支援も使命の一つである。平成23年の東日本大震災や平成28年熊本地震にはDMAT及び救護班11個班など現地に派遣し医療支援を行った。

病院建設については、建物・機器の老朽化や耐震などの災害対応、療養環境の改善等のため約172億円の予算で平成19年2月に全面改築に着手した。病棟・検査部門・給食部門等からなる高層館は平成21年12月に、外来部門・管理部門等からなる本館は平成24年4月に竣工となり、その後外構工事・公開空地の整備を行い、平成25年4月に事業を完了している。

また、平成24年度より本院機能の補完、慢性的な外来駐車場不足解消を目的とし、別館関係工事に着手し、平成25年2月に別館1、別館2、保育所を、平成25年10月には旧看護学校解体跡に駐車場(102台)を設置した。

平成26年3月には一連工事の終了をもって新築工事竣工記念式典を挙行了した。

平成29年11月には最新鋭のPET-CTの更新、3月にはハイブリッド手術室の新設など高度医療機器を導入し医療の質を高める取り組みを継続的に行った。

平成30年12月より患者サービスの向上を目的に患者総合支援センターを開設した。

令和2年1月には「がんゲノム医療連携病院」の指定を受け、がん診療の体制充実を図った。

令和3年12月には松江市立病院との連携と協力に係る基本協定を締結し、地域医療連携の体制強化を進めている。

#### ア. 病院の現況

##### ①敷地・建物（病院部分）

敷地	9,250.10㎡
本館	地上6階建 10,175.62㎡
高層館	地上14階建地下1階 31,293.37㎡
合計	41,468.99㎡

##### ②病床数

599床（一般病床552床、精神45床、感染2床）

##### ③診療科目（32科）

内科、糖尿病・内分泌内科、血液内科、膠原病・腎臓内科、消化器内科、総合診療科、精神神経科、脳神経内科、呼吸器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、皮膚科、泌尿器・副腎外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科・



頭頸部外科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、麻酔科、歯科口腔外科、救命救急科、集中治療科、化学療法科、感染症科

④職員数

1,184人（医師149人、看護師610人 他 ※令和5年3月31日現在）

⑤特殊施設

人工透析センター、ICU、CCU、NICU、GCUなど

⑥その他

地域医療支援病院、臨床研修指定病院、第二次医療圏災害拠点病院、エイズ拠点病院、脳死者からの臓器移植提供施設、地域がん診療拠点病院、地域周産期母子医療センター、救命救急センター など

イ. 診療状況の概況

○患者数（令和4年度）

外来患者延数 183,080人（一日平均 753人）

入院患者延数 182,312人（一日平均 500人）



## （2）益田赤十字病院

昭和29年4月1日、当時益田市外11町村組合立美濃 共存病院を日本赤十字社が引き受け、益田赤十字病院と改称して発足した。

その後、地域医療に対応するため、昭和32年に増改築、昭和46年に新築移転を行い、現在では、県西部における中核病院として、第二次救急指定病院、エイズ拠点病院、災害拠点病院、第二種感染症医療機関、地域がん診療連携推進病院、地域周産期母子医療センター、地域医療拠点病院、地域医療支援病院に指定され、その役割を果たすべく施設、設備の整備・診療体制の強化・地域住民の健康維持並びに福祉の充実・向上に努めている。

平成28年1月に新病院が開院、平成30年1月、地域包括ケアシステムを推進するため入退院センターを設置、また、平成30年3月には地域により信頼される病院を目指し、日本医療機能評価機構病院機能評価 一般病院2（3rdG：Ver.1.1）の認定を受けた。

近年では、医療資源の少ない益田圏域において、限られた医療資源を有効活用し、医療機関の相互協力、研修医受入れ体制の充実、医療機能の維持・充実に努めるため、津和野共存病院・六日市病院・益田地域医療センター医師会病院・松ヶ丘病院と医療機能連携協定を締結している。また、令和元年5月には自治体である津和野町、令和5年3月には吉賀町と、地域包括ケアシステムの推進、地域医療を担う医療人材の育成を目的とした医療機能連携支援協定を締結した。

ア. 病院の現況

①敷地・建物（病院部分）

敷地 26,325㎡

建物 地上6階建 20,400㎡

合計 46,725㎡

②病床数

284床（一般病床272床、結核4床、感染4床、HCU4床）

### ③診療科目（22科）

内科、呼吸器内科、消化器内科、血液内科、内分泌・代謝内科、脳神経内科、循環器科、小児科、外科、脳神経外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻いんこう科、眼科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、病理診断科

### ④職員数

613人（医師64人、看護師282人 他 ※令和5年3月31日現在）

### ⑤特殊施設

HCU、NICU、外来化学療法室、血液浄化センター

### ⑥その他

臨床研修指定病院

## イ. 診療状況の概況

### ○患者数（令和4年度）

外来患者延数 158,712人（一日平均 653人）

入院患者延数 85,488人（一日平均 234人）

## （3）松江赤十字病院、益田赤十字病院の新型コロナウイルス感染症への公的病院としての対応

松江赤十字病院・益田赤十字病院では、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の専用病床及び発熱外来を設置。感染拡大防止のため、来院する人の目的（外来受診者、面会、業者等）に応じて病院の入口を分け、入口の開錠・施錠時間を変更するなど、変動する感染状況を踏まえた対策を継続している。

また、手術前に必要に応じて抗原定量検査及びPCR検査を実施。入院患者への面会に関しては、病院から来院をお願いした方のみ可能とする等の制限を設けている。

そして、県の入院調整本部による、全県を対象とした入院の調整を、地域の医療機関と連携し積極的に実施した。

ワクチン接種の普及については、各市からの大規模集団接種の要請を受けて、松江赤十字病院では医師と看護師を接種会場へ前年度に引き続き派遣した。益田赤十字病院では、集団接種会場を院内に開設し、ワクチン接種体制確保のため看護師とその他職員（OB含む）が会場支援スタッフとして協力している。

そのほか、益田赤十字病院では、圏域のクラスター発生施設へ、感染制御の為DMATチームを派遣した。

## （4）隠岐島前地区巡回診療

昭和7年に支部巡回診療所設置に当たり、「日本赤十字社島根県支部巡回診療班規定」及び「施行細則」が定められ、県内各地における巡回診療が開始された。現在は、隠岐島前地区のみを対象として、町村分区の要請により赤十字病院から医師、看護師等を派遣し、無料の巡回診療を実施することとしている。 ※令和4年度 実施なし

## 7. 血液事業

### (1) 島根県赤十字血液センター

昭和40年2月1日松江赤十字病院分病棟内に移動採血車が配備され、全県で移動採血による200mL献血と、医療機関への血液供給業務を開始した。

その後、昭和41年1月に、松江赤十字病院本院構内で事業を開始し、昭和55年9月には同病院の新館建設に併せ、併設舎屋が完成した。

昭和61年4月から、新たに400mL献血、成分献血がスタートしたが、新しい血液事業に対応するため、平成2年3月に、松江市大輪町の県有地に新舎屋を建設し現在に至る。

一方、県西部の採血拠点として、昭和41年8月、益田赤十字病院内に益田出張所を開設し、県西部の移動採血を開始した。平成5年同病院の増改築に伴い同病院敷地内に新舎屋を建設した。

また、平成22年5月には、出雲市に献血ルーム「ふれあい」を開設した。

輸血用血液の安全性を強化する取り組みとして、平成7年7月から全国統一システムが導入され、平成11年6月からは全国の献血場所で、安全性にかかわる情報や今までの献血状況が参照できるようになり、現在では血液事業情報システムとして、経理・用度機能、献血・採血管理機能、製造管理機能、販売管理機能、情報統計機能が稼働している。

平成11年10月からのNAT（核酸増幅検査）の導入、平成15年7月30日には血液製剤の安全性の向上、安定供給の確保及び適正な使用の推進のために「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」が施行された。

平成17年10月より検査目的の献血等を防止するために献血受付時の本人確認、感染症の遡及調査を見直し、安全対策として新鮮凍結血漿製剤の180日間貯留保管、保存前白血球除去を開始し安全な血液確保に努めている。また、採血による献血者等の健康が害された場合の措置として平成18年10月1日から「献血者健康被害救済制度」が導入された。

平成19年4月、輸血用血液の安全性確保と効率的な事業運営を行うために島根県赤十字血液センターで実施していた検査業務を、また平成20年3月28日からは製剤業務を広島県赤十字血液センターへ集約した。

平成23年4月、それまでの血液製剤の供給業務委託から、血液センターから供給を開始した。同年10月には西部地区の供給業務拠点として浜田市に供給出張所を開設した。

平成24年4月、都道府県単位で行っていた事業を、全国に7つの本社直轄施設を設置して事業を実施するため、広島市に中四国ブロック血液センターが設置され検査・製造、需給管理等をブロック単位で集約、安全で均質な血液製剤を安定的に供給する広域的な事業運営体制が開始された。

県内における効率的な事業運営を考慮した結果、平成26年8月31日には出雲市の献血ルーム「ふれあい」業務を、平成29年3月31日に益田市の益田出張所業務を松江市の島根県赤十字血液センターへ集約した。

平成26年3月より島根県赤十字血液センターの愛称を献血ルーム「だんだん」とし、県内唯一の常設献血ルームとして広く県民の皆様へ献血の協力を呼びかけるとともに、平成28年度からは複数回献血クラブ会員サイトを一新し、全国共通のポイント制度を導入するなど、より一層サービスの充実を図った。

また、新たに分割血小板成分献血の導入などの取り組みを行い、必要な血液量を効率的かつ安定的に確保するよう努めた。



ア. 令和4年度採血計画及び実績

①採血目標数 22,184人

②献血実績数 21,411人

1) 月別献血状況

(単位：人)

区分 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
献血ルーム(松江)	821	848	824	851	886	833	895	840	865	808	918	858	10,247
移動採血車	800	1,003	925	851	917	965	995	957	1,009	883	891	968	11,164
計(人)	1,621	1,851	1,749	1,702	1,803	1,798	1,890	1,797	1,874	1,691	1,809	1,826	21,411

2) 市町村別献血状況

(単位：人)

市町村	献血者数		
	200ml	400ml	成分
松江市	0	3,089	0
浜田市	0	675	0
出雲市	0	4,089	0
益田市	0	652	0
大田市	0	479	0
安来市	0	478	0
江津市	0	384	0
雲南市	0	459	0
奥出雲町	0	218	0
飯南町	0	193	0
川本町	0	83	0
美郷町	0	25	0
邑南町	0	231	0
津和野町	0	29	0
吉賀町	0	80	0
隠岐の島町	0	0	0
海士町	0	0	0
西ノ島町	0	0	0
知夫村	0	0	0
母体(松江)	65	2,633	7,549
小計	65	13,797	7,549
合計			21,411

イ. 血液製剤の供給

輸血療法は、適正に行われた場合には極めて有効性が高いことから、広く行われている治療法である。そのため、血液製剤は医療上不可欠のものとされ、他の医薬品と同様、医療需要を満たすための安定供給が求められている。

血液センターでは、輸血を必要とされる患者様に确实、迅速に血液をお届けできるよう供給本数を予測し、それに基づいた採血を行い、日々の在庫管理とWeb発注システムを使用した発注を推進し医療機関から确实迅速に血液製剤の発注をしていただけるように努めている。

また、原材料に由来する感染のリスク等について特段の注意を払う必要があることや、献血者の方からの善意によりいただいた血液であることを十分に認識する必要があることから、医療機関へは「輸血療法の実施に関する指針」に基づき、血液製剤の適正使用をお願いするとともに、血液製剤の安全性に関する情報の収集及び提供を行っている。

○血液製剤供給数

製剤品名		供給単位数	比率(%)	製剤品名		供給単位数	比率(%)
照射人全血液-LR	200mL由来	0	0.000%	照射濃厚血小板	成分由来1単位	0	0.000%
	400mL由来	0	0.000%		成分由来2単位	0	0.000%
照射解凍赤血球-LR	200mL由来	0	0.000%		成分由来5単位	20	0.028%
	400mL由来	0	0.000%		成分由来10単位	37, 380	51.771%
赤血球液-LR	200mL由来	0	0.000%		成分由来15単位	0	0.000%
	400mL由来	78	0.108%		成分由来20単位	0	0.000%
照射赤血球液-LR	200mL由来	9	0.012%	濃厚血小板HLA	成分由来10単位	0	0.000%
	400mL由来	25, 146	34.826%		成分由来15単位	0	0.000%
洗浄赤血球-LR	200mL由来	0	0.000%		成分由来20単位	0	0.000%
	400mL由来	0	0.000%	照射濃厚血小板HLA	成分由来10単位	200	0.277%
照射洗浄赤血球-LR	200mL由来	0	0.000%		成分由来15単位	0	0.000%
	400mL由来	0	0.000%		成分由来20単位	0	0.000%
照射合成血-LR	200mL由来	0	0.000%	照射洗浄血小板	成分由来10単位	0	0.094%
	400mL由来	0	0.000%	照射洗浄血小板HLA	成分由来10単位	0	0.054%
新鮮凍結血漿-LR	200mL由来	29	0.040%	換算単位数合計		72, 204	100.000%
	400mL由来	6, 686	9.260%				
	成分由来5単位	2, 656	3.678%				
濃厚血小板	成分由来1単位	0	0.000%				
	成分由来2単位	0	0.000%				
	成分由来5単位	0	0.000%				
	成分由来10単位	0	0.000%				
	成分由来15単位	0	0.000%				
	成分由来20単位	0	0.000%				

(2) 献血運動の推進

日本赤十字社では、昭和40年以来、毎年7月に「愛の血液助け合い運動」を厚生労働省、各都道府県と共催で実施している。また、昭和49年以来、民放連の協力を得て実施している「はたちの献血キャンペーン」を1月～2月の2ヶ月間実施している。

令和4年度においては、献血啓発事業として「めぐる献血プロジェクト」を1年間実施している。

ア. 愛の血液助け合い運動〔実施期間：令和4年7月1日～7月31日〕

本年の献血キャンペーンは、厚生労働省、都道府県、日本医師会など、数多くの関係団体や機関の後援のもとに、広く国民各層に対し、献血への理解と協力を呼びかけた。夏場は特に、企業、団体、学校などが長期休暇に入り、献血者が少なくなりがちなため輸血用血液の安定的確保を図っていくための広域的な運動を展開した。

7月1日～7月31日の間、献血ルーム「だんだん」や街頭献血会場において、献血協力者に対して血液センターオリジナル記念品を進呈した。

イ. はたちの献血キャンペーン〔実施期間：令和5年1月1日～2月28日〕

献血者が減少する冬期において新たに成人を迎える「はたち」の若者を中心として広く、献血に関する理解と協力をお願いした。大学、高校等にポスターを掲示し若い年齢層へのPR活動を実施。また期間中、献血へご協力いただいた10代、20代の方に、はたちの献血オリジナル巾着やモバイルバッテリーを配布し、若年層を中心に多くの協力を得た。

ウ. 「めぐる献血プロジェクト」(実施期間：令和4年9月7日～令和5年4月30日)

「めぐる献血プロジェクト」は少子高齢化に伴い献血者が年々減少を続けている現状に対して、献血を通じて体験できるいくつもの出会いや感動を届け、継続的に献血へのご協力をいただき、輸血用血液を医療機関へ安定的に供給すること、国民の日常生活がニューノーマルへと変容している今、新しいワークスタイルや学習スタイルに対応した献血推進を目的に、キャンペーンキャラクターに今田美桜さん、高杉真宙さんを起用しプロモーションを展開した。

### (3) 新型コロナウイルス感染症への各種対応について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、学校(高校・大学等)やイベント、事業所への献血バス配車日数が減少したが、減少した日数を街頭献血会場(松江イオン・出雲イオンモール・ゆめタウン出雲・ゆめタウン益田)や他事業所へ振替し、配車日数を確保した。また、医療機関へのMR活動を自粛し、輸血情報、血液製剤のかかるお知らせ文等の情報提供は、電話をはじめとするメール・郵送で対応した。

ア. 献血者に対する主な対策

- ・来所者及び職員に対し、体温測定の実施、マスク着用のお願、手指消毒の徹底
- ・各部屋において密閉空間とならないよう、換気扇を使用するとともに、扉や窓の開閉による換気の実施
- ・献血ルーム、採血室及び職員事務室等に加湿空気清浄機を整備しウイルス感染を抑制

イ. 献血会場における主な対策

- ・蜜を避けるために会場レイアウトの変更及び移動採血車への入場制限措置
- ・スリッパ抗菌ディスペンサーの設置に伴う、献血ルーム正面玄関の改修
- ・飛沫防止ビニールシート設置(献血ルーム・各移動採血車・検診車)
- ・献血者一人つき、採血ベットや使用機器の消毒の実施
- ・不特定多数の人が触れる自動販売機、ドアノブ等の定期的な消毒の実施

ウ. 供給における主な対策

- ・血液配送後における血液輸送容器の消毒

## 8. 社会福祉事業

### (1) 松江赤十字乳児院

松江赤十字乳児院は、昭和24年に松江市立乳児院として創設され、松江赤十字病院が運営にあたっていた。昭和32年、設置主体が松江市から日本赤十字社に移管され、施設名も松江赤十字乳児院となり、県内唯一の乳児院としてその責務を果たしてきた。

平成21年4月には松江市母衣町から南田町に院舎の移転新築を行った。

平成30年度に『小規模ケア棟』を増築し、より家庭に近い環境でケアを取り入れるなど、施設の機能強化に努めている。



○令和4年度の施設利用者数（延）

項目	利用者数(人)
乳児院延入所児数	7,449
育児相談等来所数	99
病児保育利用者数	6

### (2) 松江赤十字乳児院における新型コロナウイルス感染症への対応

院内の衛生管理や、職員の体調管理はもとより、新規入所に際してのPCR検査や隔離の実施、オンライン面会の実施など、感染対策を図りながら、施設の社会的責任を果たせるよう取り組んできた。

### (3) 県内児童福祉施設への援護（『児童福祉施設支援金』の贈呈）

県内の児童福祉施設に入所している子どもたちのために、青少年赤十字メンバー、赤十字奉仕団員等からの支援金の寄託を受け、県内13の児童福祉施設へ贈呈した。本義援金募集は、昭和38年度に「年末義援金」と称して開始し、本年度で59回目となる。

ア. 受付額 373,863円（69件）

イ. 贈呈額 373,863円 ※配分内訳は以下のとおり

施設種類別	施設名	配分額(円)
乳児院	松江赤十字乳児院	29,909
児童養護施設	社会福祉法人双樹学院 双樹学院	68,778
	社会福祉法人せんだん会 安来学園	55,323
	社会福祉法人三隅愛育会 聖煌寮	43,363
児童心理治療施設	社会福祉法人親和会 児童心理療育センターみらい	20,939
児童自立支援施設	島根県立わかたけ学園	19,444
福祉型障害児入所施設	社会福祉法人山陰家庭学院 松江学園	28,414
	社会福祉法人親和会 さざなみ学園	41,868
	社会福祉法人邑智福祉振興会 くるみ邑美園児童部	7,484
	社会福祉法人いわみ福祉会 こくぶ学園	29,909
	社会福祉法人博愛 仁万の里児童部	7,484
医療型障害児入所施設	社会福祉法人島根整肢学園 松江整肢学園	11,969
	社会福祉法人島根整肢学園 島根整肢学園	8,979
合計		373,863

## 9. 国際活動

現在、世界における赤十字・赤新月社数は192社（一国一社の原則）である。日本赤十字社はその一員として赤十字国際委員会、国際赤十字・赤新月社連盟、各国の赤十字（赤新月）社と連携し、国際援助・協力を行っている。

当支部においても緊急援助と開発援助のいずれにおいても積極的に推進している。

参考：ジュネーブ4条約締約国 196カ国

日本政府が承認している独立国家数 196カ国

国連加盟国数 193カ国



### （1）海外救援金の取扱い

紛争、風水害、干ばつ等による被災住民や難民への救援活動については、国際赤十字・赤新月社連盟を中心に一層の努力を傾注して救援活動を展開している。

日本赤十字社でも救援グループの有力なメンバーとして、人的、物的ニーズに応じた救援を行っている。当支部においては、救援金の受付を行い、本社を通じて送金している。

○海外救援金の取扱い（集計期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日）

No.	受付項目	件数(件)	金額(円)
1	中東人道危機救援金	3	64,583
2	バングラデシュ南部避難民救援金	3	4,989
3	アフガニスタン人道危機救援金	7	28,449
4	ウクライナ人道危機救援金	470	16,179,359
5	2022年アフガニスタン地震救援金	1	10,000
6	2022年パキスタン洪水救援金	8	912,638
7	2023年トルコ・シリア地震救援金	145	2,818,265
合計		637	20,018,283

### （2）中四国（第5ブロック）各県支部共同国際救援事業

中四国各県支部が共同して資金を拠出し、アジア・大洋州地域の洪水やサイクロンなどの災害に見舞われる国や地域に対して「給水・衛生災害対応キット」資機材の備蓄を継続して支援している

なお、本年度の拠出額は次のとおり。

令和4年度事業費総額	7,000,000円
島根県支部拠出額	646,516円





### (3) 第40回 NHK海外たすけあいキャンペーン

日本赤十字社の行う国際活動（緊急援助、開発協力）は、本キャンペーンによる救援金等を財源として実施されている。

当支部においては、NHK松江放送局をはじめ、山陰合同銀行、島根県農業協同組合、島根県信用漁協連等の協力のもと、下記のとおり救援金の募集及び受付を行った。

ア. 実施期間 令和4年12月1日～25日

イ. 取扱状況（令和5年3月31日現在）

受付場所	件数(件)	金額(円)
日本赤十字社島根県支部	1,168	362,969
NHK松江放送局	32	507,821
金融機関（山陰合同銀行・県農業協同組合・県信用漁協連分）	42	312,728
郵便振替（日本赤十字社 ※本社取扱分）	183	2,111,358
合計	1,425	3,294,876

### (4) 国際人道法セミナーの開催

期日	開催地域	実施団体	受講者(人)
7月22日	松江市	大阪健康福祉短期大学 松江キャンパス	41
7月26日	松江市	大阪健康福祉短期大学 松江キャンパス	37
12月16日	大田市	高文連青少年赤十字部門（青少年赤十字出雲・石見ブロック研修会）	66
		受講者計	144